

資料編

研究通信





# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年4月19日 文責：寺門 No.1

## みんなで取り組んでみて、みんなで成長していけるように…（校長先生）

第1回研究全体会ありがとうございました。「全職員参加型」の校内研究を目標に、今年度の取組について御提案させていただきました。先生方お一人おひとりの実践に支えられている校内研究だと感じています。校長先生からお話をいただいたように、校内研究が有意義な学びの機会になるよう、部員一同先生方の実践から学び、研究の推進に貢献したい気持ちでおります。1年間よろしくお願いいたします。



図1：校長先生から



図2：研究全体会の様子1



図3：研究全体会の様子2

### 校内研究の概要

**主題設定の理由** 昨年度の研究では、単元シートの活用について概ね有用性を感じていることが分かりました。今年度は、単元シートを作成する負担に見合うだけの効果が得られるのか、また具体的にどのような効果が得られるのか、できるだけ多くの実践を通して検証する必要があると考え、主題を設定いたしました。

**単元シート** 日々の実践を、各教科等の3観点で整理するためのツールです。記載内容は、お配りした資料をご覧ください。

**一人一実践** 単元シート・授業シートの様式と合わせ、5月10日の研修の日に御提案できるように準備を進めております。

**Webを活用した研究の公開・研究の計画** 配布した資料にまとめさせていただきました。Webを活用した公開に向けては、まだまだ手探りの状況です。先生方のアドバイスをいただきながら進めていきたいです。お気付きの点を研究部員に教えていただけたらと思います。

**お知らせ** 次の4点についてお知らせさせていただきました。

- ・校務システムにおける、資料・セミナー等の情報共有
- ・掲示板（事務室・高等部印刷室）での、学部研究や研究会等の情報共有
- ・研究関連の情報や教育雑誌等の資料管理

「必要な情報がございましたらお問い合わせください。」

- ・意識調査の実施（事前調査は、5月7日までを締め切りに実施予定）

「御協力よろしくお願いいたします。」

## 単元シートの作成が実践に結びつくように…（大山教頭先生）

単元シートの作成が、私たちの実践や資質向上に結びつくような取組であってほしいと激励いただきました。本研究は、「指導の工夫」が目標になっていますが、その先には児童生徒の成長があることを忘れてはならないと感じました。全職員で目標を共有しながら取り組めるよう、校内研究を進めてまいります！



—「単元シート」の活用を通して—

図4：主題設定の理由

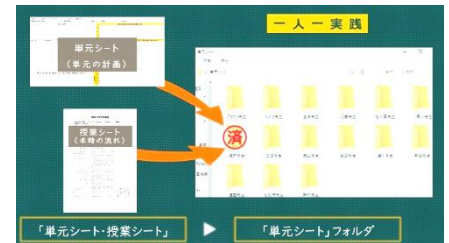


図5：一人一実践



図6：研究部よりお知らせ



【ハッター】授業参観ができるように「いつ」「どこで」など記載

【授業シート】	学部・学年・題材／単元名	T1	〇〇〇〇				
授業日	12月31日(金)	時間	〇〇:〇〇-〇〇:〇〇				
場所	〇年〇組教室(雨天時)	本時	〇時間/〇時間				
授業日	12月31日(金)	本単元に関わる児童生徒の実態及び授業について					
令和3年5月	子ども達	子供の实態を踏まえて「こんな授業にしたい」という願いや授業の見どころなどを記載					
日	月	火	水	木	金	土	日
25	26	27	28	29	30	1	
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		
プルダウン	本時の目標	関連する単元の目標	踏まえる資質・能力				
①, ③			②, ⑤				

授業シート

- 一単位時間の計画を作成
- 実践を広く共有

本時の目標を踏まえて記載  
(学習評価に関する内容や手立ての評価等も)

実践の記録や引継ぎ資料として記入

単元シート・授業シート データの保存場所

01 校務部

令和3年度

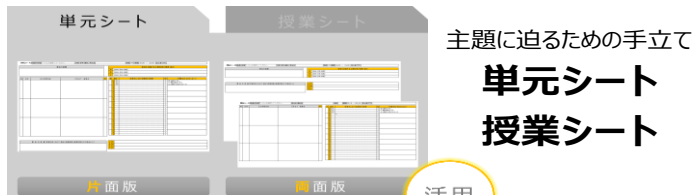
6-4 研究部

☆実践の共有☆  
(単元シート・授業シート)

研究通信 ~学びをつなぐ~

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年5月10日 文責:寺門 No.2

各教科等の育成を目指す資質・能力を踏まえた指導の工夫  
-「単元シート」の活用を通して-



主題に迫るための手立て

単元シート  
授業シート

第1回研究全体会での学び...

→ 作成を実践に生かすこと

- ・朱書き等, 改善の履歴
  - ・反省を次の実践へ
  - ・15:30~の話し合いツール
  - ・授業打合せの効率化 などなど
- 先生方の実践における工夫を, 共有し合える校内研究にしていけたらと考えております。

一人一実践

共有

研究部

実践日程をご報告お願いいたします  
(※前の週の金曜日まで)

単元シート・授業シートをフォルダに保存願います  
(※実践の前日まで)

翌週分を集約 → 月曜日に1週間分アナウンス

授業実践

保存したデータに評価・反省を記入願います  
(※可能でしたら単元の授業写真を数枚保存)

実践の取りまとめ  
ポスター発表 × 研究紀要  
(※Web公開にデータの提供依頼)

【変更】

両面版の表裏に表示  
したい内容に精選

指導の形態

【変更】プルダウン

【変更】指導の形態と各教科等を  
別に表記できるように改善

指導の形態 各教科等

【変更】プルダウン

メモ欄(配慮・具体的な姿など)

【提案】「コメント欄」の活用

【単元シート】指導の形態 教科別の指導 学部・学年・題材／単元名 時数 99 期間 05/10 ~ 10/30 記入者 (TT)

単元の目標	育成を目指す主な教科等の資質・能力								
教育課程を基に記入	教育課程・学習指導要領を基に記入 (何ができるようにする)								
関連を矢印で整理									
時	日付	主な学習内容	〇手立て・留意点	教科	単元	教科	本単元における個別の目標	評価	メモ欄(配慮・具体的な姿など)
		「単元の目標」や「本単元における個別の目標」の達成に向けて学習内容を設定(何を学ぶか)					本単元ならではの...その子供ならではの...の表現で個別の目標を設定	◎:達成できた ○:概ね達成できた △:共有したい配慮・特筆すべき子供の姿など記入	

単元シート

- 単元や題材など,内容や時間のまとまりを見通して作成
- 各教科等の資質・能力を踏まえた授業
- 教員間で協働して作成 → 内容の共有

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	個別の評価
上記の視点で指導の振り返り	個別の評価を踏まえて単元の学習を評価(何が身に付いたか)



単元シート・授業シートの説明動画  
<https://www.youtube.com/watch?v=1IGILCrgFAC>



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年6月3日 文責：富士原 No.3

## うちの何気ない授業が (石巻支援)

## 誇れる授業力



カレンダー  
Calendar

2021/5

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 小の生誕(学 スト)	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

いつも校内研究に御協力いただきありがとうございます。

先日の研究全体会より、単元シート・授業シートの共有をお願いしております。先生方の授業実践を共有することで、学校全体の授業力向上につながると考えます。共有に際しまして、左記画像のような WEB カレンダーを用意させていただきました。授業実践の動向がリアルタイムで確認できます。(URLを知っている人しかアクセスできません。)よろしくお祈いします。

また、授業実践する際、研究部員にお知らせください。このような流れで共有したいと思ひます。

### 一人一実践

実践日程を御報告お願いいたします  
(※ 前の週の金曜日まで)

単元シート・授業シートをフォルダに保存願ひます  
(※ 実践の前日まで)



### 授業実践



保存したデータに評価・反省を記入願ひます  
(※ 可能でしたら単元の授業写真を数枚保存)

実践の取りまとめ  
ポスター発表 × 研究紀要  
(※ Web公開にデータの提供依頼)

### 研究部

翌週分を集約 → 月曜日に1週間分アナウンス



WEB カレンダー、QRコードより閲覧することができます。  
(<https://03sekishikenkyu.apage.jp/>)



データはこちらに保存をお願いします。  
【校務部→研究部→ 実践の共有 (単元シート・授業シート)】





# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年6月18日 文責：寺門 No.4

## 「研修の日」について

今年度計画している10回の研修の日についてお知らせいたします。

研修の日②では、2つのシートの様式を提案いたしました。幾つか質問をいただいておりますので、検討の上、後日お知らせしたいと思います。

研修の日③では、ワークショップを企画しております。少しでも今後の実践に役立つ研修になればと準備をいたしております。教育実習や現場実習などと日程が重なってしまいましたが、可能な範囲での参加をお願いいたします。

研修の日④⑥は、学部ごとの実施になります。学部研究への御協力をお願いいたします。

研修の日⑤は、夏休み中に行う研修です。先日、職員会議でお知らせした講師に関する資料を下記に掲載いたします。

研修の日⑦⑧は、指導主事訪問に向けて設定していた研修の日です。予定の変更に伴い、研修内容を検討しています。

研修の日⑨⑩は、同日に行います。⑩の全体のと次年度の提案を2月に計画していましたが、他の会議との調整があり変更いたしました。

「研修の日」の計画（6月18日付）	
①4月12日（月）	研究全体会
②5月10日（月）	単元・授業シートについて
③6月21日（月）	単元シート作成ワークショップ
④（7月20日（火））	学部授業研究事前検討会 ※日程は各学部で調整
⑤8月25日（月）	夏季研修会
⑥（9月1日（水））	学部授業研究事後検討会 ※日程は各学部で調整
⑦9月16日（木）	（指導主事訪問に向けて研修を計画していたため、現在、内容を調整中です。）
⑧10月19日（火）	
⑨⑩1月31日（月）	研究のまとめ、次年度の提案



研修の日②「単元・授業シートについて」の様子

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官



### 講師 加藤 宏昭 氏

平成17年4月 都立七尾特別支援学校教諭として着任

平成24年4月 都立武蔵台学園に異動

平成27年4月 東京都教育庁西部学校経営支援センター支所に学校経営支援主事として着任

平成30年4月 東京都教育庁指導部特別支援教育指導課に指導主事として着任

令和3年度4月より現職



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年6月25日 文責：後藤・寺門 No.5

## 学習内容作りワークショップの感想①

先日は、研修の日③「学習内容作りワークショップ」への御協力ありがとうございました。全て記載することができないかもしれませんが、先生方の感想を共有させていただきます。(表現等調整してある旨、御了承ください。)

□自分のグループでは、メンバーの先生のアイデアで、もち米を育てて、おもちを作って正月飾りにして飾ろうという単元を考えることができた。メンバー各々の幅広い発想を結集して、一人で発想できないものを作り上げるという体験をすることができた。ありがとうございました。

(「一人で発想できないもの」…ワークショップならではの御感想ありがとうございます。協働的な授業作りを大切にしていきたいです。)

□学習内容を考えていく際に「資質・能力」を参考にすることで不足している内容を補うことにつながるなあと感じた。1段階のつながり(中1と小3)についても明示されていることが分かった。

(今回の研修のメインである「段階のつながり」について、今後も研修していきたいと思います。)

□子どもたちが楽しく取り組めて、さらに生活に生きる力を育てるために1時間で何ができるのか考えて1時間1時間を大切にしていきたいなと改めて感じた。また、各学部の先生方の話を聞いて、進路や家事など実生活に生きてくる取り組みの必要性も感じた。

(「自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習する」という生活単元学習を意識した学習内容作り…今後も大切にしたいです。)

□目指す資質・能力から学習を考えていくと、何が必要か見えてくるように思った。(具現化は難しいが)つながりを意識して作るということは今まで考えていなかったのも、よい刺激になった。

(「具現化は難しい」…学習指導要領で示されたつながりを具体的に学習内容に取り入れることができるのか…今後も研修していきたいです。)

□高等部の先生方2名と小学部の大ベテラン先生とご一緒させていただいた。自分は経験がなく、アイデアをたくさん付け加えていただき、まさに「気付きの共有」ができた。合わせて、小、中、高の学びのつながりの大切さに気付き、関連性を意識していくことの大切さを実感できた。ありがとうございました。

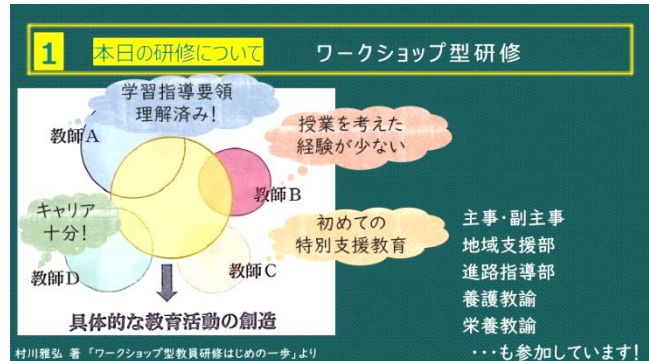
(私たちも、授業作りにT・Tの良さをさらに生かしていきたいと感じました。ありがとうございます。)

□昨年、この単元をした。おせち料理、雑煮 etc. 地域の違いが授業を組み立てていておもしろかった。一人で考えるより、他の学部間で話すことで小学部の視点、中学部の視点、高等部の視点、養教の視点を聞くことができ「なるほど～」と思うことが多々あった。

(単元を経験なされた先生にとって有意義な研修だったことを知ることができて安心いたしました。ありがとうございます。)

□先生方の授業づくりの視点、気付きが素晴らしいと思った。「〇学部〇段階はこのような内容で…」とスラスラ出てくるのがすごいと思った。私は授業作りに関わるのが少なく不勉強な点も多いが、グループの先生方の受容的な雰囲気を受けとめていただき、意見を言いやすかった。

(「意見を言いやすい」…ワークショップだけでなく、普段の学級経営や授業作りにも生かしていきたいです。)







# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年6月30日 文責：後藤・寺門 No.6

## 学習内容作りワークショップの感想②

先日は、研修の日③「学習内容作りワークショップ」への御協力ありがとうございました。全て記載することができないかもしれませんが、先生方の感想を共有させていただきます。(表現等調整してある旨、御了承ください。)

□実際に学習指導要領の文面を見比べて個別の目標を見て、学習内容を作ってみるということを通して、頭をフルに回転させることができました。(いつもぼんやりしているので…)グループで意見交換することで授業作りが楽しく感じた。他のグループのものも参考になった。

(「授業作りが楽しく感じた」…日々の取組につながるような研修になり、安心いたしました。)

□小3、中1段階を踏まえた学習内容からのスタートだと、想定される子どもの姿が漠然としてしまい、深めたり、イメージを広げたりすることが難しく感じた。段階の目標を意識することは大切だと思うが、想定される子どもの実態のないところでは難しいので、同学年の教員グループを組むなどできたらよいかもかもしれない。



図：中1と小3の段階の関係を単元シートで確認

(御指摘ありがとうございます。本来は子供の実態から考える授業作りを、校内研究と関連して「段階の系統性」に焦点化したため御不便をお掛けいたしました。どうやって個に応じた授業を作るか…ということも、大切に研究を進めていきたいと思います。)

□教育課程から一步踏み込んだ授業を意識して考えを深めることができた。楽しかった。ありがとうございました。

(なるほど…このような授業作りが教育課程の改善につながるのかもしれない。)

□たいへん楽しく研修ができた。これも研究部の先生方の御準備のお陰だと思う。限られた単元目標に向け、様々なパターンの学習を考えることができ、実際にいくつか実践していきたいと思った。

(日常の授業作りに貢献できたら…と考えた研修ですので、このように思っただけでよかったです。)

□日本の食文化に的をしぼっていった。どうしても「食」の面ばかりに目が向きがちだが、先生方と話し合いをしていく中で、買い物体験、地域の人との交流等「食」から様々な視点に置き換えられるということに気付いた。大変勉強になった。

(「話し合いをしていく中で」…日常の授業作りを疑似的に体験できる研修になってよかったです。)

□短い時間だが、先生方のアイデアをたくさん出し合い、授業を考えられたこと、とても勉強になった。資質・能力を基にして授業を組み立てていくということ、大切だと思った。具体的な資料を準備していただき考えやすかったです。ありがとうございました。



写真：ワークショップ前の説明

(先生方のアイデアや実践している授業には、きっと多くの場合「資質・能力」が踏まえられているのだと感じています。校内研究を通して、私たちが少しでも、その「資質・能力」を明確にできたり説明したりすることにつながれば…と感じています。)



# 研究通信 ～学びをつなぐ～



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月7日 文責：後藤・寺門 No.7

## 学習内容作りワークショップの感想③

先日は、研修の日③「学習内容作りワークショップ」への御協力ありがとうございました。全て記載することができないかもしれませんが、先生方の感想を共有させていただきます。

(表現等調整してある旨、御了承ください。)



写真：ワークシートで段階の系統性を確認

□色々なアイデアが出てきて、話し合いを通してどんどん膨らませていけたので楽しかった。じっくりと時間をとって考えること、時間を確保できるようにしていきたい。

(日々の実践で少しでも時間を確保したいと思っても、他の業務を優先してしまうことが多々あります。今回の研修が、みんなで授業作りをするきっかけになれば幸いです。)

□短時間で考えるのがなかなか難しいですが、何人かで一言ずつでもアイデアを出していくと次第に内容が膨らみ、まとまっていく楽しさを味わった。

(なるほど！単元の構想を練る際、担当が提案する前に、こういった意見交換が少しでもできるといいのかもしれないね。)

□楽しく研修することができました。学部を越えて話し合いをすることで、授業作りの新たな気づきがあった。考えやすいように資料を準備してくださり、おかげで育成を目指す資質・能力についても勉強することができた。ありがとうございました。

(一昨年の校内研究の成果には「学部を超えた話し合い」があったのですが、昨年度はその機会を十分に確保できなかったことが気掛かりでした。短い時間ではありましたが、今回の研修が、学部を超えた学び合いの機会になっていたら幸いです。)

□普段、単元の担当を決めると、学習内容や手立てをその人にまかせてしまっている。このように20分の中でもみんなで話し合うことでよりよいものが作れることが分かった。今後、このような形で単元作りをやっていけたらと思う。

(ありがとうございます！単元シートの最も大きな役割はそこにあるのかもしれないと考えさせられました。)

□各学部の先生方と考えて作り上げた単元だが、Bはもう少し時間があれば完全記入できた。記入できなかった分、互いに確認して終了した。来年度からの実践に向けて少し不安がなくなった。



写真：ワークショップの前に個人で検討

(「不安がなくなった。」…とてもうれしいです。今回の研修が、先生方の実践の一助になりましたら幸いです。)

□今回の研修グループが、たとえば同じクラスの担任同士で、「あなたのクラスの子どもをイメージして授業計画を考えなさい。」という設定だと考え易かったかなあと感じた。子供をイメージせずに、小3段階、中1・2段階を考えて授業作りをすることがなかなか難しかった(私の頭のモードの問題だとは思いますが...)。ということは、普段は生徒のことをイメージしながら、今日のような研修の形で授業計画が作れるということですね。

(今回は「段階の系統性のみ」にテーマを絞ったため、御不便をお掛けしました。今回の不便さを日常の実践に生かそうとする姿勢に頭が下がります。)





# 研究通信 ～学びをつなぐ～

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月9日 文責：後藤・寺門 No.8



## 学習内容作りワークショップの感想④

先日は、研修の日③「学習内容作りワークショップ」への御協力ありがとうございました。全て記載することができないかもしれませんが、先生方の感想を共有させていただきます。

(表現等調整してある旨、御了承ください。)

□「ゆく年くる年」という一つの单元に対して、小・中・高さまざまな目標や内容があり、支援学校は段階的に進んでいくことを再確認することができた。今後も計画してください。ありがとうございました。

(「今後も計画してください。」…お忙しい中参加していただき、このように思っていたことがなによりです。)

□普段、受け持っている子供たちをイメージしての授業作りはなんと

なくできるけど、紙面だけでも、それぞれの先生方のイメージは個々それぞれなんだなあ～と感じた。いろんな思い、意見を聞くことができた。楽しかった。

(研究が進んでいくことで、学習指導要領で示された内容と子供たちの姿を同時に考えて授業作りができるようになっていけばいいのかもしれないと気付きました。)

□まだ、自分で单元シートや新様式の個別の指導計画を書いたことがないので、慣れない作業ではありますが、グループに小・中・高の先生がいたので、それぞれの実態を踏まえた考え、アイデアを聞くことができて、面白かった。お世話様でした。

(グループのワークシートを見るとどのグループも異なった学習内容でした。同じ資料から、こんなに多様な授業作りができることに驚きました。)

□育成を目指す資質・能力を焦点化し、そこから自分で学習内容を考えるのが楽しかった。すでに共有フォルダに保存してある略案から授業をつくるのかと思っていたので、児童の実態や育てたい力から单元や授業の内容を考えてみたいと思った。思い返すと、特別支援学級のときはよくそうしていたのを思い出した。

(一斉指導のための教科書が無い中で、様々な情報を整理して授業作りをしていかなければならないと気付きました。ありがとうございます。)

□若い人達に新しいことを教えられてありがたかった。確かに一緒に考えると「そうなんだ。」と気付くことがある。ありがとうございました。

(「授業作り」を目標に、同じ立場で意見を出し合う先生方の姿に感銘を受けました。)

□自分はこれまで小学部の実態をもとに单元を考えていましたが、高等部の先生方からご意見をいただくと、「ああ、なるほど。同じ单元でも高等部だとこのような活動ができるんだな。」と気付く、とてもよい機会となった。企画していただいた研究部さんに感謝です。

(私たちが先生方の取組から「なるほど。」と気付くことがたくさんでした。こちらこそ、前向きな参加に感謝です。)



写真：2～4人のグループごとにワークショップ



写真：2～4人のグループごとにワークショップ



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月14日 文責：寺門 No.9

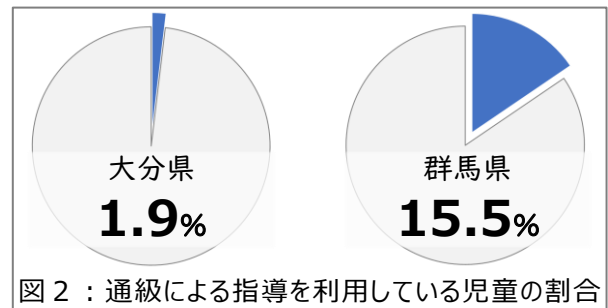
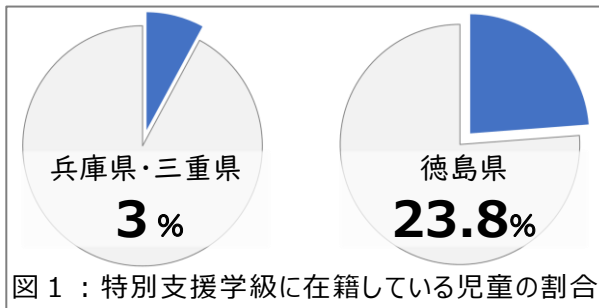


## 季刊誌 特別支援教育「夏」(以下「本誌」) ※昨年度より定期購入しています

今回の特集は「特別支援教育資料の改訂」です。8月25日に御講演いただく加藤調査官の解説が掲載されています。その前に掲載されている総説からご紹介させていただきます。ぜひ、一読いただいた上で、夏の研修会に参加いただけたらと思います。(囲み枠内は本誌の引用)

都道府県ごとの特別支援学級の在籍者と通級による指導の利用者数を比較してみると、自治体によって顕著に差があることがうかがえた。 <P.5 上段 L.21>

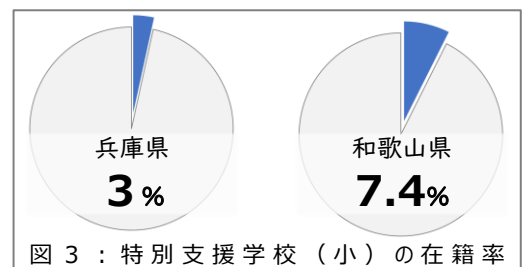
Webを検索して見つけた、「特別支援教育の対象となる児童生徒の都道府県別比較(横内理絵 吉利宗久 柳原文正【2011】)」のデータから児童に絞り、最も大きな差があった2つの自治体を比較します(図1~3)。



特別支援学級や通級等の特別支援教育の対象となっている児童の割合は、自治体によって8倍近くの差があることが分かります。自治体によって、特別支援教育を必要としている児童の人数がこれほど異なっているとは考えにくいです。一方で、特別支援学校の在籍率は、自治体によって、それほど大きな差はありませんでした。

学びの場の選択について、自治体間での手続きや学びの場の運用に差が生じていることが分かった。

<P.5 中段 L.7>



具体的な考え方や参考となる基準等を示してほしいという国への要望もあった。 <P.5 中段 L.16>

このような背景があり、平成25年に作成された「教育支援資料」を「障害のある子供の教育支援の手引き」(以下「手引き」)に改訂し、今年の6月から実施していることが示されています。

本誌では、手引きについて、加藤調査官が次の3点を解説しています。

- ・知的障害の状態等に応じた教育的対応 P.16~17
- ・自閉症の状態等に応じた教育的対応 P.24~25
- ・情緒障害の状態等に応じた教育的対応 P.26~27

手引きの改訂により、障害のある子供たちの学びの場はより一層柔軟になっていくことが分かります。様々な学びの場の連続性を考えると、私達は「☆☆さんは、国語について〇段階の△△の内容は身に付いているので、□□の内容に取り組んでいます。」ということを説明できるようにしておくことが求められているのかもしれませんが。単元シートの活用を通して、子供たちの当該の段階や下の学年の段階とのつながりを意識した実践を積み重ねていけるように、校内研究を進めていけたら・・・と、改めて考えさせられました。



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月16日 文責：後藤・寺門 No.10

## 学習内容作りワークショップの感想⑤

先日は、研修の日③「学習内容作りワークショップ」への御協力ありがとうございました。全ての御感想に学びがあることを痛感しております。(表現等調整してある旨、御了承ください。)

□自分ひとりでは深められなかったことが、このワークショップによって一緒にグループだった先生方がたくさんの手立てを考えて下さり、とても勉強になった。ありがとうございました。

(少しでも良い授業にしたい…という雰囲気があったことが伺えます。とても大切な学びの環境だと感じました。)

□グループの先生方が短時間で授業のアイデアを出せるということ、意識の高さが伺えた。日々の授業も「準備する時間」さえあれば、良い授業がたくさんできると思った。放課後の有効な時間の使い方を考えなければいけないと思った。

(放課後の時間を有効に使うためには、「自分にとって何かいいことがある。」と、感じる必要があるのかもしれないと感じました。互いに刺激し合える授業作りを目指していきたいと思います。)

□年未年始は、たくさんのお家内での役割を持てる時期だと思うので、考えていて楽しかった。自分で学習内容を考える時間があると、具体的にいろいろと気づきがあり、良かった。勉強になった。

(このような単元が「本校の秘伝のタレ(前中村調査官)」なのかもしれないです。先生方のアイデアでさらに良い味付けに…。)

□育成を目指す主な教科等の資質・能力を考えて単元の内容を見通すことで、新しい学習内容に目を向けることができた。ワークショップ形式は、他の先生分の考えもたくさん聞けるので、更に広がりがあり、学習を考えるのが楽しかった。ただ、育成を目指す資質・能力をどう身に付けさせるのかむずかしいと思った。

(単元シートのようなツールを作成するだけでは目標にせまれない。…大山教頭先生が話してくださった「いかに活用するか」といった視点につながると感じました。)

□3学部の異なった学部の先生のお話を聞いて、普段の授業の様子を知ることができたことが収穫でした。

(「教育は人なり」と聞いたことがあります。先生方それぞれの大切にしていることを掛け算しながらいい授業を作りたいと感じました。)

□同じような単元、題材であっても、アプローチの方法が異なるところが教員個々の特徴であり、だからTTの方法が効果的になる部分でもあることを短い時間ながら感じた。どこに重きを置くのか、ということもすり合わせることで学習はずいぶん変化していくのだなと思った。

(このような手法で授業を良くしていくことが、特別支援教育の専門性の一つなのではないかと感じました。)

□他の学部の先生方と話し合う機会が良かった。高等部では、他の学部よりも実態差があるので、より個別の実態を把握して授業を作っていかなければならないと感じた。

(グループの先生方も同じように「小学部では…」「中学部では…」と感じていたのかもしれませんが。このような話し合いを行うことが学部間の連携につながるのかもしれないと感じました。)



写真：2～4人のグループごとにワークショップ



写真：2～4人のグループごとにワークショップ





# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月19日 文責：後藤・寺門 No.11

## 学習内容作りワークショップの感想⑥

研修の日③「学習内容作りワークショップ」の感想を共有いたします。学びを、夏休みやその後の授業作りに生かしていただけましたら幸いです。  
(表現等調整してある旨、御了承ください。)



写真：2~4人のグループごとにワークショップ

□短時間に素晴らしいアイデアがどんどん出されてとても良い勉強になった。

(本当に素晴らしいアイデアがたくさん! その一部ですが、夏休み前まで、事務室前と高等部印刷室前の掲示板に拡大ワークシートを掲示いたします。)

□グループ内で、それぞれが考えた授業内容を付き合わせる面白さを味わうことができた。話し合うことで、ねらいの明確化や授業内容を膨らませることができた。こんなに短い時間でも深められるのだから、どんどん実践の場で生かしたい。

(先生方のワークショップの効率の良さに驚きました。「こんなに短い時間でも深められるのだから」…15:30からの使い方を見直したいと思いました。)

□他学部の先生方と言葉を交わすことで、新しい発見が沢山あった。それぞれの段階で目指すものが変わり、積み重ねることで児童・生徒の世界が広がっていくことを実感できた。

(「積み重ねることで」…今は、少しの大変さを伴いながら取り組んでいることも、少し先には当たり前のように思考できるようになりたいと思いました。)

□学部を超えて授業の組立を考えるのは、たくさんの気づきがあり、楽しかった。

(先生方のおかげで昨年度できなかった、「学部の垣根を超えた授業作り」ができました。ありがとうございます。)

□久しく授業作りをすることから離れていたの(固い)学習指導要領の目標から授業を構想するなんて難しいと思っていたが、次々と自分のアイデアを伝えたり仲間の先生の発想をお聞きしたりして、とても楽しく授業作りをすることができた。面白かった。

(今回の学習指導要領解説には、授業作りをナビゲートしてくれる記述がたくさんあることを感じています。それほど固くないのかも…。)

□それぞれが担当している生徒をイメージして意見を出し合えて良かったと思った。

(中澤教頭先生がまとめて話してくださった「子どもに合わせた授業作り」…今回の資料を基にこのようなワークショップができて良かったです。)

□面談があったので後半しか参加できなくてすみませんでした。他学部の先生方の視点がとても勉強になった。本日の研修、ありがとうございました。

(こちらこそ、御忙しい中参加していただきありがとうございます。短い時間でも学びのある時間を持てて良かったです。)

□小・中・高の教員のチーム編成がよかったと思う。幾つか思い付きやすい題材を選んだり、指導要領の関連、段階のつながりが分かりやすいように資料を準備していただいたりしたおかげで話し合いやすかった。ご準備、お疲れ様でした。



写真：2~4人のグループごとにワークショップ

(学部間の交流や段階のつながりなど…研修の目的を先生方に御理解いただいたことで研修ができたことを痛感しています。)





# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月21日 文責：後藤・寺門 No.12

## 学習内容作りワークショップの感想⑦

研修の日③「学習内容作りワークショップ」の感想…最終号です。続けての発行になってしまいましたが、お読みになってくださりありがとうございます。掲載されていない御感想がございましたら、研究部員までお知らせください。(表現等調整してある旨、御了承ください。)



写真：感想用紙に記入し、研修の振り返り

□小・中の先生方のご意見が聞けたのが良かった。高等部とは違う発想が聞けて勉強になった。楽しかったです。

(グループの小・中の先生方も同じような感想を持たれたのではないのでしょうか。前向きな話し合いをしてくださったことに感謝です。)

□小3段階と中1段階でこんなにも内容が違うことがわかった。小学部で行っていることが、ゆくゆくは中学部のように広がっていくことを踏まえて学習内容を考えていきたい。

(このような、段階のつながりを意識した教育課程の見直しも必要になってくるのかもしれないと感じました。)

□児童の実態ではなく、段階から選ぶという作業は新鮮で、架空の指導案を書くためにはいい方法だと思った。そのおかげで段階の内容から指導案を考えることができ、おもしろいと思った。イメージは小学校3年生の社会の学習だと感じた。

(段階のつながりを意識することは、小学校とのつながりを意識することに広がっていくと感じました。「学びの連続性」を意識した授業作りだと思います。)

□個人の時間があり、自分なりに考えることはできた。ワークショップでは、やはりそれぞれが考えたことがバラバラだったので、このようにまとめるならもう少しテーマをしぼったらより深められたと思う。

(御指摘ありがとうございます。段階のつながりを踏まえた学習内容がそれぞれに浮かんだことがすごいと思いました。さらに、お一人お一人のアイデアを生かせる展開を工夫する必要があったのかもしれません。反省です。)

□栄養教諭が同グループで、いつもと違った視点で授業作りができた。楽しく話し合いができ、内容も膨らんだ。

(保健や栄養が関連する学習内容の際は、授業作りに養護教諭や栄養教諭のお力を拝借したいと思いました。)

□他学部の先生方の柔軟な発想を聞くことができて良かった。

(柔軟な発想で授業作りができるように、このような機会を少しでも持っていきたくと思いました。)

□一つの単元で他の先生方と話すことで、いろいろなものが出てくると思った。もっとこうしたら良い、こういうのもあるというのは、みんなで考えればいっぱい出てくると思った。



写真：中澤教頭先生の総括

「授業を創り出す姿勢がすばらしい。今後の取組に生かしてほしい。」

(20分の話合いでこのように感じていただけて幸いです。前向きな取組に感謝です。)

□グループの先生と楽しく学習内容を考えることができた。日々の授業作りにももちろん生かします。

(明日の授業作りにつながるワークショップになって良かったです。前向きな取組に感謝です。)

□毎年必ず行う掃除の活動にどのような動機付けをするのか、という視点が持てたことが良かった。神棚を飾るから、1年使った所に感謝するからなど、ただやることもできるけれど、何らかの意味を共有して行うこと、大切にしたい。コロナが落ち着いたら地域の方々との交流も積極的にして、地域の学校にしていきたいですね。

(「コロナが落ち着いたら」…研修の設定を考えているとき、全く同じように感じました。今できない分、子供たちの学びを日常生活につなげていきたい…という気持ちを膨らませたいです。)



気付き共有

研修のねらいは、「段階のつながりを踏まえた学習内容作りを通して生まれた**気付きの共有**」でした。いただいた感想を全て共有することでねらいに迫れたら…と考え、通信の発行が続きました。御協力ありがとうございました。



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年7月29日 文責：寺門・後藤 No.13

## 中学部実践 生活単元学習「夏を楽しく」

6月30日に中学部2年生の生活単元学習で佐久間理恵先生が単元シートを使って実践してくださいました。授業シートと単元シートは01校務部⇒令和3年度⇒6-4研究部⇒00☆☆実践の共有☆☆のフォルダに入っています。実践に取り組んだ佐久間先生と授業を参観された先生方の感想をいくつかご紹介します。

<授業シートから>にじみ絵の良いところを取り上げること、自分で夏の風物を選ぶことなどが自ら学ぶことのできるよい手立てと思いました。

<単元シート> 理科, 家庭, 社会の資質・能力の押さえは Good と思います。個別の目標はもう少しぼってもいいのでは?と思いました。これだけは、と言うものをあげるはどうでしょう?また, 国語, 数学, 美術も関連してくると思います。それらをメモ欄などで, この子はここは取り組ませたいということが必要分だけでも記入しては, と思いました。 (単元シートの形式になりますが) ジュースを買うとき, 発表するとき, 文字を書くときなど, ここは, というものだけでも。



・作品を制作する授業でした。作品展に向けてというところもあると思うのですが, そうするとやはり「図工・美術」の内容を扱っているとして良いのではないかと思います。活動内容も筆(道具)を使ってにじみ絵(技法)をする, ということでしたので…。



・友達の作品や先生の例があり, 子供は“何をどうやって作ろうかな?”と思いを巡らす機会があつていなと思いました。そう考えると, 図工の資質・能力が目標にあってもいいのかなと思いました。  
・2つのシートも分かりやすく, “こんな授業にしたい”というのが理解できました。

【佐久間先生より】

・中学部の教育課程では, この単元に制作の活動は設定されていませんが, 季節を感じ, 楽しみを持つというねらいから取り入れました。そのため図工・美術の資質・能力は入っていません。作品は, 「夏」をモチーフとしておりフレームに入れて飾ることで, 季節や生活をよりよく, 楽しくする1つの手段とし, 小単元を通して家庭科の「季節の変化に合わせた快適な住まい方」につながるようにと考えました。  
・この単元はとても大きいです。大単元の単元シートと本時の授業シートを作成して, 実践したところ, 小単元の目標やねらいが伝わりにくいように思いました。小単元で単元シートを作成したり, 小単元の略案を付けたりすると分かりやすくなるかなと思いました。



文部科学省は学習評価について「各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から, 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して, 学習の過程や成果を評価し, 指導の改善や学習意欲の向上を図り, 資質・能力の育成に生かすようにすること。」と示しています。

目標について様々な感想をいただきましたが, シートの記載内容や書き方は実践を重ねながら共通理解していけたらいいのかもしれませんが。単元シートを作成する大きな理由には, 授業者が単元を見通して「子供たちにこのような力を付けたい」と, 明確にすることがあるのではないかと, 佐久間先生の実践や御意見から考えさせられました。

佐久間先生, 最初の実践ありがとうございます!



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



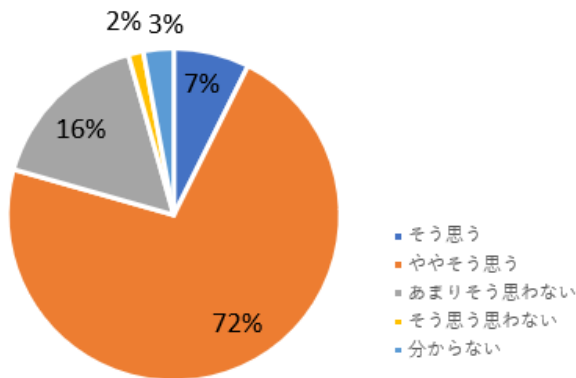
宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年8月17日 文責：伊藤 No.14

## 校内研究に関するアンケート(報告①)

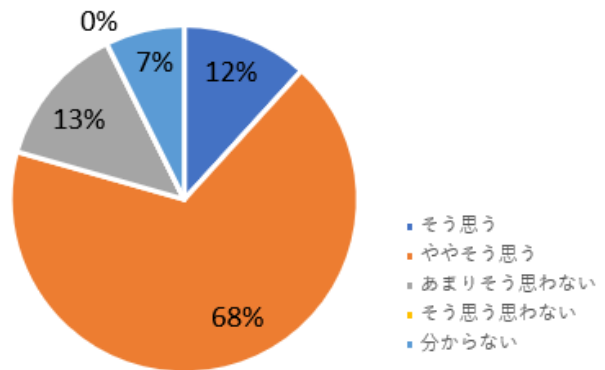
5月に実施いたしました「校内研究に関するアンケート」につきまして、御回答いただいた内容を共有させていただきます。

全3回に渡ってお伝えしますので、お時間に余裕のある夏休み期間中に、ぜひ御一読ください。

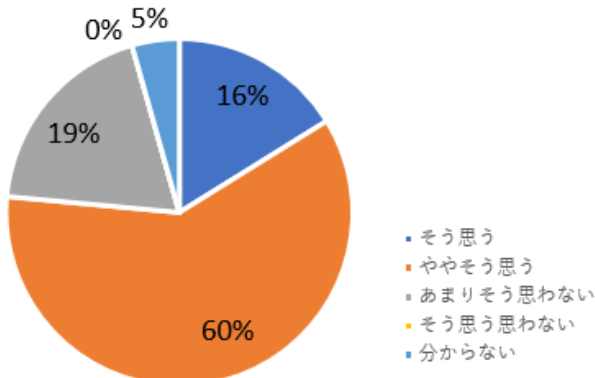
1 単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力(何ができるようになるか)との関連を踏まえて実践している。



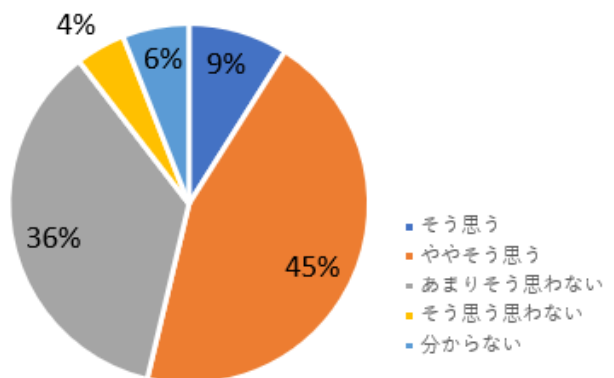
2 学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。



3 学習集団を形成している児童生徒一人ひとりの目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容(何を学ぶか)を検討している。



4 単元の指導をする中で、児童生徒の目標や手立てを踏まえ、学びの姿や配慮事項を記録している。



9つの設問と自由記述欄に御協力いただいたアンケートの内、今回の研究通信では設問1~4について共有いたします。

設問1~3のいずれにおいても70%以上の先生方が「そう思う」、「ややそう思う」と回答されています。

また、設問4においては半数近くの先生方が「あまりそう思わない」、「そう思わない」、「分からない」と回答されています。このことから単元シートのメモ欄が十分に活用しきれていなかったことが明らかになりました。



# 研究通信 ~学びをつなぐ~



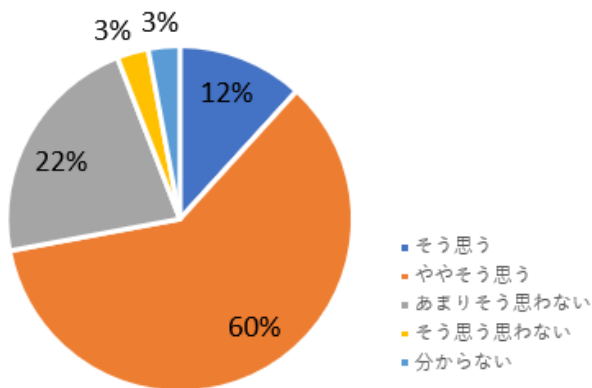
宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月3日 文責：伊藤 No.15

## 校内研究に関するアンケート(報告②)

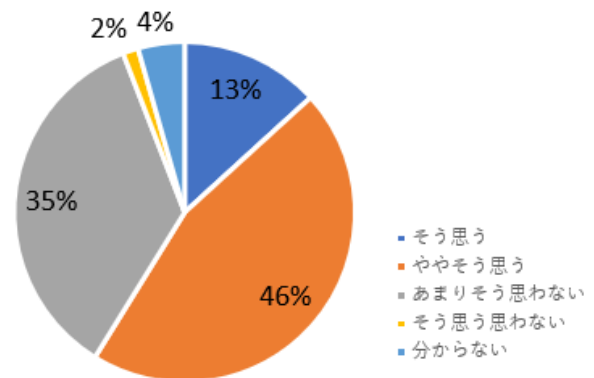
前号に引き続き、校内研究に関するアンケートについて共有いたします。

児童生徒の登校も始まり、お忙しいところとは思いますが御一読ください。

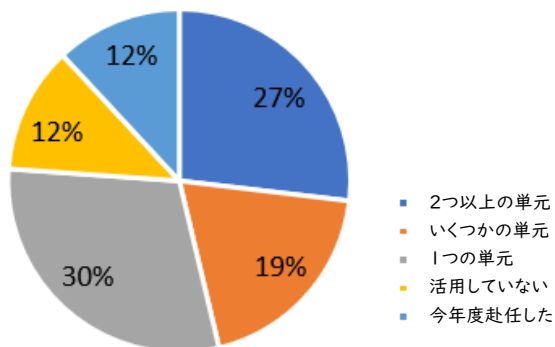
5 児童生徒一人ひとりの学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価(何が身に付いたか)をしている。



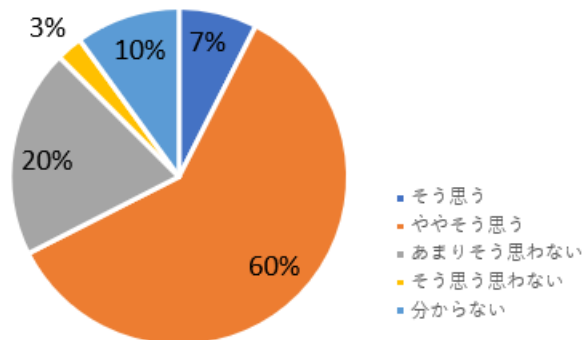
6 児童生徒の学びの姿や学習評価を踏まえた上で、単元の指導についての反省を教員間で共有している。



7 昨年度、単元シートをどの程度活用しましたか。(今年度赴任なされた先生は、5つ目の項目のみに✓をお願いいたします。)



8 7で「今年度赴任した」に✓していない先生にお尋ねします。単元シートを作成する労力に対する効果があると感じていますか。



質問5, 6から、単元シートを活用した授業作りが学習評価に有効であることが明らかになりました。単元シートを活用することが、個別の目標を意識した授業作りや、教師自身の評価としてフィードバックすることに役立つとの意見がうかがえました。

また質問7, 8からは、昨年度多くの先生が単元シートを活用していただいた結果、その作成する労力に対する効果があると感じていただいた反面、少なからず負担感を有されていることも明らかになりました。





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月1日 文責：遠藤・寺門 No.16



## 小学部研究授業 4年生：生活単元学習：「夏を楽しもう」：事前検討会

9月2日の小学部研究授業に向けて、8月20日に事前検討会を行いました。検討会の内容をお知らせいたします。

### 1 研究の経過（研究部）

- ① 研究主題・副題の確認
- ② 全員で実践することを目指し、副題を「単元シートの活用を通して」としたこと
- ③ 小学部の実践はこれから取り組む先生方が多い → 「4年生の実践からみんなで学びたい」ということ



図1：単元の一部を参観するイメージ

### 2 参観のポイントと方法（研究部）

単元シートは、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通すためのツールであり、研究授業はその一部分を参観することを確認した上で（図1）、2つの視点で参観することを確認しました。



#### 視点1：個の資質・能力を育成する単元になっているか（単元シート）

- 例 「この学習内容だと、このような資質・能力を育成できるね。」  
「この学習内容は、この単元で扱うとすると、育成を目指す資質・能力は、〇〇なのかもしれないね。」

#### 視点2：個の資質・能力を育成する学習展開であるか（授業シート）

- 例 「（参観は一部だけど…）こうやって、まとまりのなかで資質・能力を育成しようとしているのね。」  
「この単元の資質・能力からすると、本時は、こんな働き掛けもあったかもね。」

上記2つの視点で研究授業を参観する際、教員一人一人の参観時間を踏まえ、児童の学びの姿を見取る観点から、参観方法と事後検討会の方法を次のように提案いたしました。

- ① 児童それぞれの学びの様子を役割分担して参観すること。
- ② 児童の学びの様子を2つの視点で付箋紙に記入し、ワークショップによる事後検討会を行うこと。

### 3 単元の計画と本時の展開について（授業者）※検討会後にバージョンアップしたシートを、掲示板にて共有いたします。

江川静花先生より、作成した単元シートと授業シートについて説明していただきました。

### 4 質疑・応答（たくさんありましたが、一部をお知らせいたします。）

Q：児童が盆踊りのイメージを持つための方法は？

A：写真を常時掲示したい。動画や楽器の演奏を見せて、イメージを広げていくことも考えていきたい。

Q：1時間で扱う資質・能力としては、多いようにも思われるが…

A：夏休み明けというのもあり知識・技能も取り入れたが、本時は思考力・判断力・表現力等を中心としたい。

Q：やぐらとはどういう物を使うのか。上で太鼓を叩くなど、児童の意欲付けにできないか。

A：中に入って太鼓を叩くことができる。やぐらで太鼓を叩くことを、児童の意欲を高める手立てとしたい。

Q：楽しくわくわく感がある単元である。図工の評価が少し高いような印象を受ける。個別の目標では、2段階の児童は少数である。児童の個別の指導計画を記入するにあたって、目標や評価の捉え方に悩んでいる。

A：（学習指導要領解説各教科編の図工1段階の内容を確認し…）本時の目標や学習展開の中でも、それぞれの児童の発達段階に応じた目標達成へ向けた取組を工夫できるかもしれない。

※児童一人一人の目標達成に向けた学習展開を参観する視点について共有することができました。

たくさんの質問を重ねながら、授業のイメージを深めたり、参観のポイントを理解したりすることができました。





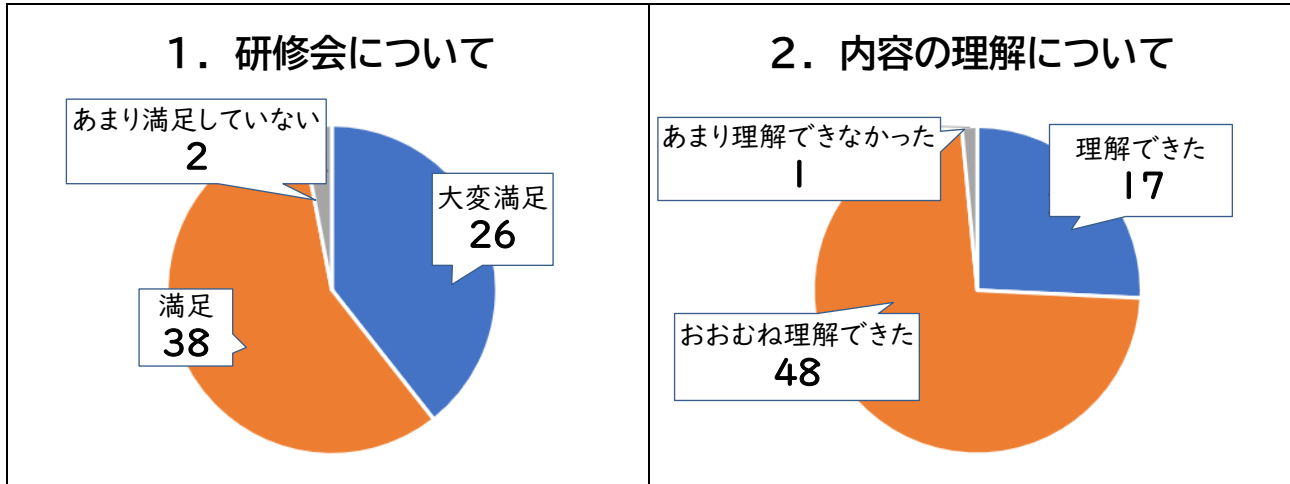
# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月7日 文責：研究部 No.17

## 夏季研修会アンケート① (設問1~3について)

8月25日の加藤先生の講演会のアンケートの集約結果についてお知らせいたします。(N=66)



### 3. 1・2を選んだ理由について

#### — 実態把握 —

- ・実態把握について、教科等と自立活動分けて分かりやすく説明していただくことで理解が深まった。
- ・実態把握と学習活動の例がとても分かりやすかった。
- ・教科の習熟度を把握して授業作りに生かす必要があると感じた。(実態把握して授業しているつもりだった。)

#### — 学習指導要領 —

- ・新しい学習指導要領の内容について、改めて理解を深めることができた。
- ・知識・技能と思考・判断・表現を効果的に育成するために、学習場面を分けることもあると分かった。
- ・資質・能力の内容について、さらに理解を深めたいと感じた。(単元シート作成の際に生かしたい。)

#### — 評価 —

- ・評価規準を分かりやすく例示していただき不安・疑問が解消した。評価の例文も知りたいと思った。
- ・評価規準の例を個別の指導計画に生かしたいと感じた。
- ・学びに向かう力・人間性等の評価や個人内評価について改めて理解が深まった。

#### — 校内研究との関連 —

- ・校内研究の取組と新しい学習指導要領の内容が繋がっていることを再確認することができた。
- ・校内研究の取組を確認し、さらに推進する内容だったと感じた。
- ・単元シートについて「シンプルにまとまっている」と、御意見をいただき実践への意欲が高まった。
- ・単元シートを作成した際に、理解が不十分だった点について気付いた。
- ・研究通信や単元シートの様式など、本校の取組を具体的に取り上げていただいたことで理解が深まった。

#### — その他 —

- ・教育課程の見直しをさらに進めていく必要性を感じた。
- ・高等部の内容についてもっと触れて欲しかった。
- ・日程はお盆前など忙しくない時期にできなかったのか。



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月7日 文責：研究部 No.18



## 夏季研修会アンケート② (設問4について)

### 4. 今回の研修会を 今後の取組に どのように生かしますか

- ・個別の指導計画に生かしたい。評価規準の例示と自分の立てた目標との相違に気付いた。
- ・個別の指導計画も学習指導要領を踏まえて自校化できていることが分かった。このまま実践を進めたい。
- ・教育課程の改善に生かしたい。学習指導要領の内容を「いつ」「どこで」…を明確にすることは、指導している単元を明確にすることだと感じた。少しずつでも取り組んでいきたい。いい教育課程にしたい。
- ・「いつ、どの指導形態で、どのように学ぶか…を明確に」という話を受けて、目標・内容をどの単元で扱っているか分かる表のようなものの必要性を感じた。
- ・時数管理の必要性を感じたが、現在の教育課程をどのように見直したらよいか見通しが持っていない。
- ・「学習活動の評価」ではなく、それを通して「(指導要領の)学習内容の評価」をするという視点を持つ。
- ・教務部や教育課程委員会で評価規準についての検討を進めて欲しい。
- ・評価規準を明確にした上で、指導の手立てを講じたい。
- ・本時の評価のポイントを明確にして、授業に臨みたい。
- ・評価の計画を大切にしたい。目標や学習内容、指導方法などに注力していた。
- ・評価を適切に行うための学習グループの編成にも取り組んでいきたい。
- ・これまで研究部の説明していたことを体系的に理解できた。実践を進めたい。
- ・単元シートを作成した上での講演で、気付くことがたくさんあった。今後に生かしたい。(もう一度実践したい。)
- ・できるだけ多くの単元で単元シートを作成し、教員間で共有しながら実践したい。
- ・「単元シートの負担削減」との考えもあるが、講演の内容から、削れる部分がないと感じた。現行の様式で取り組んでいきたい。
- ・自身の単元シートの実践に向けて、実態把握をした上で目標を設定したいと思った。(忘れないようにしたい。)
- ・一人一人の先生が今回の講演を基に単元シートを活用することが適切な指導に結びつくと感じた。
- ・校内研究の方向性と、新しい学習指導要領の目指す方向性が一致していることが分かった。実践に生かしたい。
- ・単元シートについていただいたアドバイスを生かして、単元を構想する。
- ・教員一人一人の理解の相違も感じた。今後も研修を深めていきたい。
- ・学校全体で学習指導要領やそれを基にした指導案の作成について理解を深め、周囲の学校への理解も促したい。
- ・学習指導要領の目標や内容だけでなく、教科等編の学習活動の例示まで読み込んで学習内容を考える。
- ・教科の系統性と自立活動の2つの視点で実態把握を行い、単元を構想したい。
- ・単元でねらう教科は何か、時数はどの程度扱うのか…明確にして取り組んでいきたいと思った。
- ・特別支援学校習評価参考資料を読む。
- ・今回の研修資料を何度も確認し、理解を深める。
- ・知識・技能の育成に向けて、国語・算数などの個別学習や、自立活動との関連を整理したい。
- ・学習集団や生活レベルに合わせた授業作り。
- ・学部を卒業するまでに育成したい資質・能力を整理したい。
- ・今の段階だけでなく、次の段階を意識した指導を心掛けたい。
- ・「各教科等の内容のまとめり」と「単元や題材など内容や時間のまとめり」の双方で資質・能力を踏まえたい。
- ・学校が始まる直前で慌ただしかった。時期を検討して欲しい。(7月終わりから8月初旬)



個別の指導計画

教育課程

評価

校内研究・単元シート

研修・自己研鑽

資質・能力

他

会場設営や研修会の運営に関する温かい御言葉をたくさん頂戴し、恐縮いたしております。こちらこそ、御協力ありがとうございました。





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月16日 文責：寺門 No.19

## 加藤先生の御講演からの学び① 「実態把握編」

夏季研修会における加藤先生の御講演からの学びを、校内研究との関連を確かめながら振り返ります。

### 学習指導要領における「実態把握」

学習指導要領（各種解説編を含む）の内容を示し、次の2点を確認しました（図1）。

- ・実態把握をして個別の指導計画を作成すること
- ・個別の指導計画は、「指導目標」「指導内容」「指導方法」を明確にするために作成するものであること



図1 学習指導要領における「実態把握」

### 二つの実態把握

教科と自立活動では、指導目標・内容の設定に至る手続きに違いがあること（図2）を確認した上で、実態把握は「教科における実態把握」と「自立活動における実態把握」の二つがあることについて説明がありました（表1）。

また、児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた教育課程を編成することができるよう、第8節には重複障害者等に関する教育課程の取扱いの各種規定が設けられていることや、教科と自立活動の指導目標や指導内容の設定に至る手続きに違いがあることなどを踏まえると、教師間の共通理解を図り指導の系統性を担保するためには、各学校において個別の指導計画に盛り込むべき事項について整理する必要があります。

図2 学習指導要領解説総則編 P.240

表1 教科及び自立活動の実態把握

### 校内研究との関連

二つの実態把握のうち校内研究に大きく関わるのは、「教科における実態把握」

であり、その実態把握は、単元シートにおいて「本単元における個別の目標」に関連すると考えます（図3）。

児童生徒の教科の目標を設定する際には、「この教科は○段階の□の内容まで達成できている。」と実態

を把握した上で、「次の単元では●段階の■の内容の習得を目指そう。」という手順を踏むことが考えられます。設定した目標について、「本単元における個別の目標」の欄に記載し、学習活動を教員間で検討する…このようなツールとして、単元シートを活用できればと思います。

「○段階の□の内容まで達成している」という判断が難しいことがあります。御講演では、学習指導要領解説の教科等編を参照することを勧めてくださいました。こちらには、目標や内容を具体的に理解するための学習活動の例が記されています。学習活動の例は、教科の系統性を踏まえた実態把握の参考になると考えます。

「○段階の□の内容まで達成している」という判断が難しいことがあります。御講演では、学習指導要領解説の教科等編を参照することを勧めてくださいました。こちらには、目標や内容を具体的に理解するための学習活動の例が記されています。学習活動の例は、教科の系統性を踏まえた実態把握の参考になると考えます。

	教科における実態把握	自立活動における実態把握
主な内容は…	各教科の学習内容の習得状況や到達状況	障害の状態等 学习上及び生活上の困難
具体的には…	「□教科の△△の内容は○段階まで習得（到達）している」	「学習や生活の困難の改善につながる内容（6区分27項目）は○○である」
キーワード	系統性	オーダーメイド

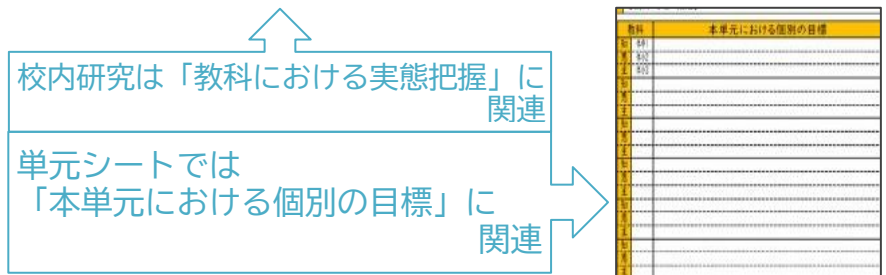


図3 教科における実態把握と単元シート

教科	本単元における個別の目標
算数	
国語	
英語	
理科	
社会	
総合	
道徳	
体育	
音楽	
美術	
保健	
生活	
特別支援	





# 研究通信 ～学びをつなぐ～



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月17日 文責：遠藤・佐々木・寺門 No.20

## 小学部研究授業

### 4年生：生活単元学習：「夏を楽しもう」授業～事後検討会（前半）

9月2日、小学部研究授業と事後検討会が行われました。

#### 授業

小単元「盆踊りをしよう」の3時間目の授業です。児童は、筆でダイナミックに色付けしたり、手作りちょうちんをつるしたりするなど、自分なりの思いを持って、やぐらの飾り付けに取り組みました。制作を通して盆踊りへの意欲を高め、自分たちが飾ったやぐらを回りながら楽しそうに踊る姿が見られました。



#### 事後検討会

江川静花先生からの自評を受けて、5つのグループに分かれて以下の2つの視点でワークショップを行いました。ワークショップで話し合われた内容を幾つかお知らせいたします。

##### 視点1：個の資質・能力を育成する単元になっているか（単元シート）

###### <成果>

- ・夏を感じる魅力的な教材や活動が取り入れられていて、あらゆる角度から資質・能力を育成する単元になっている。
- ・個別の目標や手立てがとても詳しく明記されていて、どの小単元のどの活動でアプローチしていくのか、イメージしやすかった。
- ・ITで個別の目標が共有されていて、先生方の児童への支援が目標に向かったものになっていた。

###### <改善点>

- ・単元の活動が、始めて学習したことを単元の終わりで活用するなど、単元の構成を工夫することで、より資質・能力の育成につながるのではないか。

##### 視点2：個の資質・能力を育成する学習展開であるか（授業シート）

###### <成果>

- ・児童の実態（興味・関心、習熟度等）にあった豊かな選択肢の教材が準備されていて、資質・能力を育成するために工夫されていた。
- ・全体（動）→個に応じて（静）→全体（動）の展開で、児童の活動が十分に保障されていた。

###### <改善点>

- ・2つの教室の使い方などの場の設定や児童の実態に応じた提示の仕方などを工夫すると、より効果的だったのではないか。

授業のみ参観なされた先生方から、下記のような意見をいただきました。

- ・個別の目標が、単元で育成を目指す資質・能力を受けて、個に合わせた具体的な目標になっているところが素晴らしいと思った。

また、2つの視点の他にも、次のような御意見もありました。

- ・教師の個への支援のローテーションが自然で、指導のねらいが共有されているからこそと感じた。



- ・自分からまわりに気持ちなどを発信することが難しい児童への支援を大切に考えていきたい。

## 小学部研究授業

### 4年生：生活単元学習：「夏を楽しもう」授業～事後検討会（後半）

9月2日、小学部研究授業と事後検討会が行われました。事後検討会の最後には、個人の振り返りを行いました。



#### 事後検討会

<個人の振り返り> ～一部をお知らせいたします。～

- 授業作りで一番大切なのは、児童の実態把握だと改めて感じました。授業のねらいや育てたい資質・能力も、それぞれの「できること」「よさ」を生かしていくことが大切なのだと思います。（育てたい資質・能力を検討する際には、教科の系統性を踏まえて実態把握をしたいと思いました。）
- 単元シートの作り方で日々疑問に思っていることや悩んでいることはもちろん、授業のアイデア等、多くの先生方と共有できました。とても勉強になりました。ありがとうございました。（作り方の疑問点を共有できた場となったとのこと、とてもうれしく思います。今後も疑問や悩みを自然に共有できる雰囲気作りに努めていきたいです。）
- 単元を組み合わせるうえで、幹をしっかり決めて一貫性を持つことの大切さを改めて感じました。個の資質・能力を育成するために、繰り返し経験させること、一歩チャレンジさせること、しっかり見取ることを大切に今後の実践に生かしていきたい。（単元の構成について、皆さんで意見を交わすことで見えてきたものがありました。学び合いの機会をいただいた4年生さんにあらためて感謝したいです。）
- 児童の実態があり、そこに教師の願いがあって、それを裏付けるものとして各教科等の育成を目指す資質・能力があるのだと思いました。子供たちの成長を願って、今できること、目の前のことを一つずつやっていくことが成長への道だと思いました。（各教科等の育成を目指す資質・能力についての捉え、ありがとうございます。子供たちの将来のための目の前の一歩を、先生方と一緒に大切にしていきたいと思いました。）
- 選択肢が多い＝一人一人の活動が保証されることにつながっていたこと。これまでは、迷う、選べないになりそうで少なめにしがちだった自分がいます。勉強になりました。（児童の実態や単元のどの場面かなど、選択肢の示し方は、今後も工夫していきたいと思います。）
- ある児童が、好きなシールではなく、今まで作ったものを選んだことから、お祭りの意味が分かったのかなと思いました。色々経験することの重要性を感じました。自分の授業でも心掛けようと思います。あと、言葉のない児童への声掛けについても、もっと吟味していこうと思いました。場所のアイデアについて考えていただき、ありがとうございました。（こうして児童のわずかな変容を見逃さず、指導を工夫していきたいと思いました。）

最後に、授業を提供して下さった4年生の先生から…

自分の授業で、皆さんが意見をくださり、皆さんで議論していただき、こんなに贅沢なことはないと思います。今までたくさん考えて準備してきたことが、周りの先生方に伝わってうれしいです。



…と温かい言葉をいただきました。

こちらこそ、お忙しい中、このような学び合いの機会を提供して下さり、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月24日 文責：寺門 No.22

## 加藤先生の御講演からの学び② 「学習内容編」

夏季研修会における加藤先生の御講演からの学びを、校内研究との関連を確かめながら振り返ります。

学習内容に関して、始めに次の二点を確かめました。(※ )は、学習指導要領の項)

- ① 学習指導要領の果たす役割…公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保する。(P.58)
- ② 各教科等の内容等の取扱い…内容等は、いずれの学校においても取り扱われなければならない。(P.64)

その上で、小学部6年間、中学部3年間、高等部3年間を通して、学習指導要領に示された学習内容について、「いつ」「何を」「どのように」指導するのかを計画することが必要であると説明がありました。

### ◇◆◇ 学習指導要領に示された学習内容を「いつ」指導するのか…について ◇◆◇

高等部 2段階	「いつ」指導するのか… (例)
ア 燃焼の仕組み 燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	この学習内容は、理科(教科別の指導)の〇〇の単元において□月に計画している
(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的技術を身に付けること。 可燃物が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること。	
イ 燃焼の仕組みについて調べるとき、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。	この学習内容は、生活単元学習の〇〇の単元において□月に計画している
イオ 水溶液の性質 水溶液について、溶ける物に着目して、それらによる水溶液の性質や動きの違いを多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
(イ) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的技術を身に付けること。 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること。	
ウ 水溶液には、気体が溶けているものがあること。 水溶液には、金属が溶けさせるものがあること。	
(ウ) 水溶液の性質や動きについて調べるとき、溶けるものによる性質や動きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現すること。	

図1 「いつ」指導するのか…のイメージ

図1の左側は、星先生に作成していただいた「目標・内容一覧」の、高等部理科2段階の学習内容の一部です。

図1の右側に示したように、一覧の内容を指導する計画は「いつ」なのか、少しずつ整理を進める必要があるのかもしれませんが、見やすい表の作成などが考えられるでしょうか。

単元シートを活用し、単元における指導内容を明確にする取組は、図1のような整理を進める際の大切な資料となると考えます。

### ◇◆◇ 学習指導要領に示された学習内容の「何を」指導するのか…について ◇◆◇

今年度の校内研究に最も関連している部分と考えます。単元を指導するにあたり、どのような資質・能力を育成するのかを明確にするため、学習内容との関連を単元シートに整理します(図2)。シートに整理した内容を踏まえ指導を工夫していく取組が、今年度の研究テーマです。

単元の目標	育成を目指す主な教科等の資質・能力
	知 【教科:学部:段階】
	思 【教科:学部:段階】
	主 【教科:学部:段階】

↑  
学習指導要領で示された学習内容の「何を」を記載

図2 育成を目指す資質・能力を踏まえ「何を」を単元シートに記載

「いつ」「何を」指導するのか…の二点を振り返りました。二点を具現化することが、公の性質を有する学校に求められていると捉えることができます。

### ◇◆◇ 学習指導要領に示された学習内容を「どのように」指導するのか…について ◇◆◇

「どのように」指導するのか…については、指導方法について言及されました。次号の研究通信で詳しく取り上げたいと思います。





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月30日 文責：寺門 No.23



## 加藤先生の御講演からの学び③「指導方法編」

夏季研修会における加藤先生の御講演からの学びを、校内研究との関連を確かめながら振り返ります。

◆◆◆ 学習指導要領に示された学習内容を「どのように」指導するのか…について ◆◆◆  
効果的な指導方法を工夫することについて、次の二点を示しています。(学習指導要領 P.127-128)

- |               |
|---------------|
| ① 教科別の指導      |
| ② 各教科等を合わせた指導 |

上記2点の指導方法(指導の形態)について、次の二点について配慮することを説明されました。

- |                                |
|--------------------------------|
| i 各教科等において育成を目指す資質・能力を明らかにすること |
| ii 各教科等の内容間の関連を十分に図ること         |

上記を踏まえ、「合わせた指導ありき」で単元を計画するのではなく、「資質・能力を育成するためには、教科等を合わせた方が効果的である」…ということを、十分に検討して指導方法を決めることが大切であることを強調されました。

単元シートを活用する際に、単元の目標との関連を整理した資質・能力や学習内容(図1)は、上記①・②のどちらで指導するのが効果的かを十分検討し、実践をした反省を踏まえて、次年度以降の教育課程を見直していく必要があるといえます。

また、講演にはありませんでしたが「教師がどのように指導するのか(指導方法)」と聞くと「子供がどのように学ぶか(アクティブ・ラーニング)」と関連している印象を持つことがあるかもしれませんが、2つは「教師が」と「子供が」という点で異なることを確かめておきたいと思います。

単元の目標	育成を目指す主な教科等の資質・能力
	知 【教科:学部:段階】
	思 【教科:学部:段階】
	主 【教科:学部:段階】
	↑ 学習指導要領で示された学習内容の「何を」を記載

図1 資質・能力を明確にするために「何を」(学習内容)を記載

◆◆◆ 学習評価と指導方法について ◆◆◆

単元の指導後に、効果的な指導方法(指導の形態)だったか検討するためには、学習評価が必要です。学習評価は、各教科等の育成を目指す資質・能力と関連する学習内容を踏まえて行うことが適切であると説明がありました。単元シートでは図1に示す資質・能力を踏まえて、図2の右側に学習評価を記載できるようにしています。学習評価(何が身に付いたか)を整理した上で、指導の形態についても含めて単元の反省を行うことが適切であるといえます(図2)。私達一人一人の実践を通した反省を生かし、教育課程の改善につなげていけたらと考えます。

単元の反省(学習内容・手立て・教材・授業時数・指導形態などの視点から)	学習評価
指導の形態についても反省	何が身に付いたか

図2 学習評価と単元の反省

◆◆◆ 指導方法と各教科等の授業時数について ◆◆◆

教科等を合わせた指導を行う際、教科別の指導とおおむね時数が同じになるように適切に計画することが必要であると説明がありました。教育課程委員会でも話題に上がっている内容です。全体でも、議論を深めていけたらと考えます。





# 研究通信 ～学びをつなぐ～

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年9月30日 文責：後藤 No.24



## 中学部研究授業

### 3年生：生活単元学習：「修学旅行に行こう」

中学部では、8月30日(月)の研究授業に合わせて、8月24日に事前検討会を行いました。検討会で話し合われた内容をお知らせいたします。

#### 事前検討会



### 単元の計画と本時の展開について(授業者)

授業者の高橋正俊先生より、作成した単元シートと授業シートについてポイントを説明していただきました。

### 質疑・応答

先生方からの質問や意見について、高橋正俊先生、早坂威先生、千葉佳子先生に答えていただきました。その一部をご紹介します。

Q：1時間目のオリエンテーションでは修学旅行にどれだけ期待感を持たせられるかだと思う。予定表を作ると、子どもたちは行きたくなると思うが、初日以降は集団行動やマナーについて学習する予定になっていて、しばらく場所についての学習に触れない。このような構成にした理由を教えてください。

A：延期するときのことも考えて、修学旅行が近くなったら場所について学習するようにした。

Q：生徒は映像を観たときに初めて修学旅行で訪問する場所と出会う。生徒の実態を考えると、先にみんなで大きい予定表を作ってから個人用のものを作ってもよいのではないか。

Q：宮城県、岩手、山形の大きな白地図にリナワールド等の過去に行ったことがある施設を貼るなどの活動もできる。「小学部のときは宮城の横の山形へ行ったね。今度は上にある岩手に行くよ!」という感じでやってみるのもよいと思う。

Q：単元の1時間目はつかみを大事にして「ちょっと楽しそうぞ。」と思わせたい。みんなで盛り上がりワクワクしたりする授業展開を考えたい。

A：盛り上げるために単元名や演出も工夫できると思う。

Q：A4の地図にしてはどうか。予定表を地図にして行程を貼ることもできる。

Q：後に生徒用のしおりを作るのであれば、個人用に取り組む学習は後からにして、1時間目は盛り上げることや生徒の期待感を高めることを大事にしてはどうか。

上記の通り、単元の1時間目の目標「修学旅行の日程や目標について確認することを通して修学旅行に対する期待感を持つ。」を達成するために、どのような工夫ができるかが話し合いの中心になりました。単元の導入を大事にすることで、単元を通して意欲を高められ、**単元で設定した「育成を目指す主な教科等の資質・能力」の育成につながる**ことが確認できました。

中学部の先生方、ありがとうございました！





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年10月4日 文責：寺門 No.25

## 加藤先生の御講演からの学び④「学習活動編」

学習指導要領解説各教科等編は「教科等編」とします。

夏季研修会における加藤先生の御講演からの学びを、校内研究との関連を確かめながら振り返ります。

### ◆◆◆ 学習活動について ◆◆◆

講演内容から、各教科等における実態把握・学習内容・学習方法は、学習指導要領の内容を踏まえて行うことが分かりました。それでは、学習指導要領のみで授業を考えるのかということ…ということで、学習活動の話題になりました。

学習指導要領だけで授業を考えるの？



学習指導要領を学習指導要領 P.128 より、各教科等全体にわたる内容の取扱いについて、次の二点を確かめました。

- ・ 生活に結び付いた効果的な指導をすること
- ・ (児童生徒が) 意欲をもち主体的に学習活動に取り組めるようにすること

上記二点を踏まえ、学習活動について次の二点を確かめました。(教科等編 P.27)

- ・ 生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心に据えること
- ・ できる限り児童生徒の成功経験を豊富にすること

知的障害や発達障害を有する子供は「失敗から学ぶ」ことが困難だったり、誤った方法を学習すると学び直しが大変だったりするということを聞いたことがあります。子供たちができる状況を整えながら、学習を展開する必要性が示されていると考えます。

「生活に結び付いた具体的な活動」や「児童生徒の成功体験」を考えることは、子供と関わっている私達しかできないことであり、学習指導要領では詳細に示すことができないではないでしょうか。一方、教科等編には「具体的な活動」が例示してあることにも触れておきたいと思います。

### ◆◆◆ 実態把握・学習内容・学習方法・学習活動のまとめ (…各教科等の場合…) ◆◆◆

各教科等に関連した内容をまとめると、表1のようになります。学習指導要領を踏まえる内容が多くありますが、新たに授業を変えるというよりは、本校の「秘伝のタレ(本校で長く続いている学習:中村前調査官)」に含まれる、学習指導要領の内容を整理す

実態把握 学習内容 学習方法	学習指導要領を踏まえる	
	生活に結び付いた内容 成功体験を豊富にする内容 (子供に合わせて工夫する)	
学習活動		

学習指導要領を踏まえて考えることがこんなに多いんだ!



表1 学習内容や学習活動等の整理

ることが大切だと考えます。また、「教科の指導にも関わらず『生活上の困難』のみに重点を置いた取組も見受けられる。」と御指摘もありました。教科の系統性を踏まえた実践が求められているといえます。

### ◆◆◆ 校内研究との関連について ◆◆◆

講演では、指導を工夫・改善するにあたり、「各教科等」と「自立活動」を分けて捉えることの大切さを教えていただいたと感じています。校内研究は「各教科等」に焦点化し、学校全体の取組を充実させることを目指しています。



文部科学省が示している方向性と、本校の取組の位置付けを確かめる、貴重な学びの機会をいただくことができました。



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年10月14日 文責：寺門 No.26

## 季刊誌 特別支援教育「秋」<sup>以下「本誌」</sup>が届きました

本誌の特集は「学習評価の充実に向けて」です。



学習指導要領において、学習評価についての内容が新たに記載 <P.4 中段 L.4>

今までよりも学習評価を重視していることが分かります。

- A** 「学習活動」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹 <P.5 下段 L.4>
- B** 児童生徒一人一人の学習評価を基に、教育課程の改善や充実に生かす <P.6 上段 L.5>

と示しています。本校においては、上記の①は校内研究において、②は教育課程委員会が中心となり取組を充実させてきました。「学習評価の充実」という点から見ると、二つの組織で役割分担しながらも、これまで以上に連携していくことが大切なのかもしれません。

P.6 中段 L.21からは、「教科の特性を踏まえた評価」について、下記の二点が示されています。

- ① 実際の生活場面に即した指導と評価
- ② 各教科の「見方・考え方」を働かせながら資質・能力を身に付けていることを評価

①は、夏季研修会の「学習活動」(研究通信 No.25)に関わる内容だと考えます。

②について、本誌でいくつかの例を示しています。それらの例から、昨年度の校内研修の内容を思い出しました(下図)。どの教科の「見方・考え方」を働かせているかが評価のポイントだと捉えることができます。



上記を踏まえて、本誌では国語・算数・音楽の内容のまとめりごとの評価規準の作成例を掲載しています。

知的障害のある児童生徒の場合には、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすかったり、成功経験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が育っていなかったりすることもある(中略)

教師が相互に情報を交換し合いながら、適時、適切に評価に関する情報を積み上げ、組織的・体系的に取り組んでいくことが重要である <P.9 下段 L.8>

周囲の先生方の様子を見てみると、一人一実践以外にも単元シートを囲んで話し合っている姿を目にします。上記のように、子供が成功体験を得られるように、私たちの持っている情報を交換し合うツールとして単元シートを活用できたら…と感じました。

### ◆◆◆ P.69 機会は平等に、支援は公平に 加藤宏昭氏 ◆◆◆

夏季研修会で御講演いただいた加藤先生のコラムです。車いすラグビーのルールと「障害のある子供の教育支援の手引」の内容を照らし合わせて紹介しています。私も車いすラグビーを体験したことがあります。タックルを受けたときは、車いすごと10cmくらい宙に浮いたことを覚えています。コラムを読み、その時の手に伝わる衝撃や「ガシャン!」という金属音がよみがえりました。







# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年10月18日 文責：後藤 No.27

## 中学部研究授業

### 3年生：生活単元学習：「修学旅行に行こう」前半

中学部では、8月30日に研究授業を、9月2日に事後検討会を行いました。検討会で話し合われた内容をお知らせいたします。



#### 授業

「修学旅行に行こう」の導入となる1時間目の授業で、オリエンテーションを行いました。生徒は、教師が下見をしたときの映像を見たり、予定表を使って行き先や行程を確認したり、〇×クイズで修学旅行の目的を学習したりしました。



#### 事後検討会

高橋正俊先生から自評をいただき、2グループに分かれてワークショップ形式で事後検討会を行いました。話し合われた主な内容を御紹介します。

##### 視点1：個の資質・能力を育成する単元になっているか（単元シート）

###### <成果>

- ・「本単元における個別の目標」に迫ることができる「主な学習内容」になっていて有効である。
- ・個別の目標が実態に合わせて具体的に立てられている。
- ・本時の期待感が後に単元の個別の目標につながっていく。

###### <改善点>

- ・個別の目標が授業に反映されるとよい。（反映しにくいところを無理にやろうとするのではなく、自然に反映できるところで、いかに目標に迫れるようにするか。）
- ・単元シートの「個別の目標」の中には、本時の活動（授業シート）と関わりの少ない目標が設定してあることがある。その場合、単元シートと授業シートの内容の相関性が見えにくいいため、単元シートのメモ欄を活用してはどうか。（例：本時の目標や支援などを記入するなど）

##### 視点2：その他

###### <成果>

- ・楽しい雰囲気が作られていた。
- ・予定表で日程が分かる工夫がされていた。
- ・動画で実際の行程を見せたことは、イメージを持ちやすく、有効であった。

###### <課題>

- ・生徒の意欲を高めるための手立てをさらに工夫したい。
- ・動画を見終わったら、ポイントを整理したり、振り返ったりする時間も必要である。

ワークショップを通して、「育成を目指す主な教科等の資質・能力」や「個別の目標」に迫るための工夫について、みんなで考えることができました。ありがとうございました。



# 研究通信 ～学びをつなぐ～



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年10月20日 文責：後藤 No.28

## 中学部研究授業

### 3年生：生活単元学習：「修学旅行に行こう」後半

#### 感想

授業を参観された先生方からも感想をいただきました。一部を御紹介します。

- ・大変分かりやすい授業シートでした。関連する目標、関連する資質・能力が示されているのも Good と思います。目標は達成されていたと思います。
- ・パワーポイントや〇×クイズで、生徒はとても意欲的に参加していました。ヒントの出し方、イラストを貼って予定表完成の活動はよかったです。
- ・単元シートの中には、それぞれ目指す教科での資質・能力が明記されており、習熟度に応じて、小学部段階まで降りて目標が設定されていました。

#### 個人の振り返り

事後検討会の最後には、個人の振り返りを行いました。先生方からの感想をご紹介します。

- ・有効と思われる手立ても、どの生徒にも当てはまるわけではなく、実態と個別の目標を考慮したうえで講じる必要があると改めて感じた。  
(育てたい資質・能力に迫るために、生徒一人一人の実態に合わせた支援を考えていきたいと思いました。)
- ・単元シートを作るうえでの「育成を目指す主な教科等の資質・能力」と「個別の目標」(実態)、授業作りの疑問が少なからず解決したような気がしました。  
(単元シートの作成や、授業作りについて、皆さんで意見を交わすなかで、これまで疑問に思っていたことを共有することができました。疑問点を投げかけてくださった先生方に感謝です。)



#### 授業を提供して下さった3年生の先生から…

- ・小学部の頃を鮮明に覚えていること、印象に残る修学旅行だったことが子供たちの姿から感じました。今回の修学旅行に対しての期待感が本日の授業から持つことができたと思います。何より私自身がスライドを見てワクワクしました。子供たちと共感できる気持ちで行くことができれば何よりです。  
・・・と感想をいただきました。

小学部からの学びのつながりの大切さについて実感できる授業を提供して下さった3年生の先生方に心から感謝申し上げます。貴重な学びの機会をありがとうございました。





# 研究通信 ~学びをつなぐ~



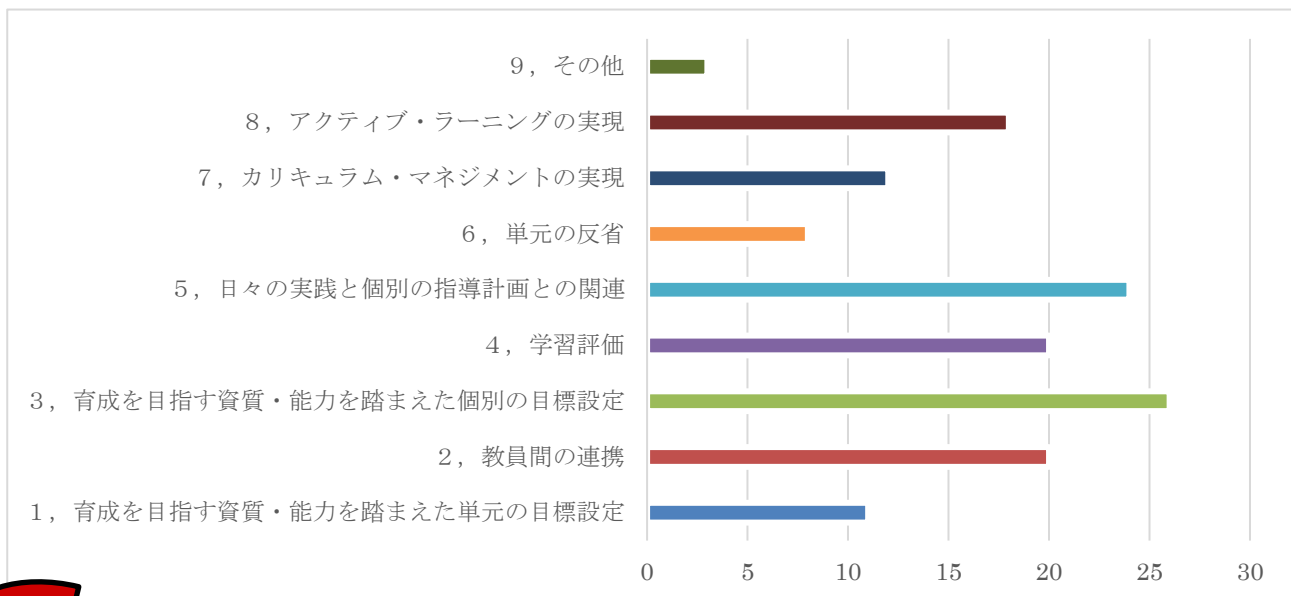
宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年10月22日 文責：伊藤 No.29

## 校内研究に関するアンケート(報告③)

校内研究に関するアンケートについて、最終の報告です。

全3回に渡って、5月に実施したアンケート結果についてお伝えしてきました。後期が始まり、お忙しいところですが、御確認ください。

設問2 授業を行う上で不安を感じている内容があれば選択肢の口に✓をしてください。(複数回答)



アンケートを実施した5月時点で、先生方が最も不安に感じていたことは「育成を目指す資質・能力を踏まえた個別の目標設定」でした。

現在、先生方の一人一実践が進み、単元シートの作成に関わってくださった先生方も増えてきております。単元シート内の、個別の目標設定欄を使用してみているかがでしょうか？不安感が増した・解消した等、様々な変化があるかと思います。

ぜひ、お近くの研究部員まで御感想等教えてください！

### 今後の見通し

12月までに先生方に一人一実践を進めていただき、改めてアンケート調査を実施する予定です。5月に実施したアンケート結果と新しいアンケート結果を比較して、先生方の意識の変容や、単元シートの有用性を検証いたします。残り半分となった今年度の校内研究に御協力ください。よろしくお願いいたします。

裏面に設問3の自由回答欄でいただいた回答を載せております。お時間があるときにお読みください。



設問3 校内研究を深める上で、必要だと感じていることや、取り組んで欲しいことなどをご自由に記入してください。

- ・教員間での話し合い(井戸端会議・炉辺談話的な)⇔時間的ゆとり・余裕=心の余裕・ゆとり⇔会議の精選(働き方改革の打破)
- ・子どもの話もできるし教材作りも楽しめる。
- ・①一つ一つの単元について、各々の担当で個別の目標を設定し、場合によってはそれを加味しながら学習内容を修正するという流れが習慣化されるまで少し時間が掛かりそうだ。②普段から児童生徒の見立てを教員間で共有することが大切だと思う。③Cの部分だけでは実質、協働しながら授業を成り立たせることは難しいと感じる。
- ・しっかり取り組めば、必ず効果があると思います。個別の目標を各児童担当の先生に入れていただいて授業の前に話し合えれば最高なのですが、強制力が不足、実現が難しいです。
- ・子ども一人一人に対して目標を設定しているので、その目標を次年度へ申し送る手段が欲しいと思います。できれば学部にいるうちは引き継げるもの。
- ・単元シートは作成するが、そこに個別の目標を設定したり、メモして記録したり、評価・反省を入力するまでに至らないことがあった。作って終わりではなく活用できるようにした。
- ・シートは手書きして、写真データの保存でもいいですか?事前に連絡しなかったシートも共有フォルダに入れてもいいですか。
- ・学習指導要領に示されていることの解釈に幅があり、指導案等を作成する上での目指す児童像であったり、個別の指導計画の目標や手立てだったりを設定していく際に、どうしても悩んでしまいます。(どこまで解釈を広げていいのか…。その割にかゆいところに手が届かない表現というか…。なので「石巻支援学校ではこうとらえます」のような文例集のようなものがあるとうれしいと思っています。)
- ・細案にスッパリと引用(活用?)できるような形式だといいいのかもと思いました。このアンケートは※でポイントを示していて分かりやすかったです。
- ・どのようにになったら次の段階に進めるか、を明確にして学習を進めないといつまでも同じことを繰り返していることが多い
- ・子どもの成長は、その単元の中で顕著に見られる場合もあるし、いろいろな活動がからみあって(時間も掛かって)見られる場合もあり、評価が書きやすい場合とそうでない場合がある。個々の評価(E メモ欄)は残しつつ、GとFは一体化してGにまとめただけでも負担感は減って書きやすいかなと思います。
- ・生徒の実態把握。実態を踏まえて必要な手立てを考えて、一人一人の生徒の達成感を味わえる授業づくり。単元シートを活用すること。
- ・個人の問題(課題)なのか、全体の問題(課題)なのかは何とも言えないですが、授業について考え合う機会・時間がもうちょっと捻出できることが必要。
- ・協議の活性化
- ・研究部の方々に色々尽力していただき、ありがとうございます。個人的ですがもっと時間にゆとりのある時に単元シートのことを諸々ざっくばらんに話したり聞いたりできるとうれいです。
- ・昨年度も提示していただいたと思いますが、活用例を提示していただけると勉強になるなあと感じております。
- ・いつも見やすい通信をありがとうございます。
- ・研究に追われない研究であることは必要だと思います。また研究したことが普段に生かせることが大事だと思うので、今の研究はそれができているのでよいと思います。研究部のみなさん、いつも丁寧に研究について説明してくださりありがとうございます。
- ・単元シートをもう少し簡略化してほしい。
- ・あまり手間が掛からないようにシート含めて検討して欲しい。
- ・小～高の系統性。発達段階で何が必要なのか考える。(自立活動で何を身に付けなければいけないかを考えていきたい。)
- ・さまざまな指針ありがとうございます。



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年10月28日 文責：星 No.30

## 高等部研究授業 2年生 C 課程 数学：「金銭」：事前検討会

### 1 研究部から

次の3点を確認しました。

- ① 研究主題・副題について
- ② 「単元シート」「授業シート」について
- ③ 学部研究の持ち方について

### 2 単元の計画と本時の展開について（授業者）

大和先生より、作成した単元シートと授業シートについて説明していただきました。

### 3 本単元の育成を目指す資質・能力について（研究部）

学習指導要領における「目標・内容」について確認しました。

旧学習指導要領「目標・内容」

高等部数学1段階

「金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる」

高等部数学2段階

「生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う」



新学習指導要領

「A数と計算」, 「B図形」, 「C変化と関係」, 「Dデータの活用」と領域が変更された。

「金銭の価値や処理に親しむことについては、内容の取扱いで触れること」となり「目標・内容」としてはなくなった。

### 4 単元シートの確認と改善案

四つのグループに分かれて以下の三つの視点を中心に単元シートを確認し、改善案を検討していただきました。先生方の気づきを紹介します。

#### 1 育成を目指す資質能力を基にした単元の目標となっているか？

- ・単元の目標が金銭について書かれているため、「A数と計算」, 「C変化と関係」, 「Dデータの活用」の資質・能力との整合性については読み取りが難しい。
- ・一つの単元に対して育成を目指す資質・能力が多すぎる。
- ・今回の学習指導要領を基にすると、金銭の学習を教科「数学」で学習することがむずかしいかもしれない。

#### 2 育成を目指す資質能力を基にした個別の目標となっているか？

- ・育成を目指す資質・能力と個別の目標の整合性は取れているが、単元計画と個別の目標が合っていない。

#### 3 単元の目標を達成するための単元計画であるか？

- ・単元の目標を達成するための計画になっている。
- ・「A数と計算」, 「C変化と関係」, 「Dデータの活用」の領域をうまく合わせて単元を作成していた。
- ・単元計画には卒業後必要になる学習が盛り込まれている。
- ・時数に対して内容が多いように感じる。

このような気づきを受けて、授業者の大和先生が単元シートの改善に取り組んでくださいました。

## 高等部研究授業 2年生C課程 数学：「金銭」：研究授業・事後検討会

### 研究授業（10月14日）

本時の目標
1 計算機を使って、具体的な生活場面における加法及び減法の計算ができること。 2 身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながらデータを読み取ったり、考察したりすること。



チラシから購入したい物を選択して計算した。

使った金額を比較するためにグラフ化した。

### 事後検討会（10月18日）

授業者の大和先生の説明とともに授業のポイントをビデオ視聴しました。三つのグループに分かれて、以下の三つの視点を中心にワークショップを行いました。ワークショップで話し合われた内容を幾つかお知らせいたします。

1 「育成を目指す資質・能力」を基にした「学習展開」であったか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ化することで金額の増減が視覚的に分かりやすかった。</li> <li>・日常生活における加減が必要となる場面が設定してある。</li> </ul>
2 「資質・能力」を育成するため、より効果的な学習活動や単元計画の案や工夫などの検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「C変化と関係」を育成するのはこの単元では難しい。関数を取り扱う題材で単元を構成した方が効果的だと思う。</li> <li>・「Dデータの活用」を育成するためにはより多くのデータを取り扱えるとよいと思う。</li> </ul>
3 その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金銭の学習なので、本時の活動でも割り引きや税の計算にも触れて良かったのではないかな。</li> <li>・スマホアプリを使用して自分で家計簿などを記録する活動をするのも実用的だと思う。</li> <li>・グラフの説明はICT機器を使用するとより分かりやすい。</li> <li>・時数に対して「育成を目指す資質・能力」が多い。精選する必要がある。</li> <li>・学習指導要領を基に「金銭の学習」の在り方を検討していきたい。</li> </ul>

### 個人の振り返り 個人の振り返りから一部紹介します。

- ・生徒の実態に合わせた授業展開で参考になった。
- ・社会に出てからの生活に生かせる力を付ける授業をしたい。
- ・個別の目標が達成できるような授業作りをして行きたい。
- ・学習内容と個別の目標がリンクするように心掛けていきたい。
- ・学習指導要領をよく読んで指導に生かしていきたい。
- ・授業作りの視点をはっきりできるので事前検討会はよい取組だと思う。
- ・ペア学習はアクティブラーニングの視点からも取り入れたい。









# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年12月23日 文責：寺門 No.33

## 校内研究Web公開終了（その1）～御協力ありがとうございました～

Web公開の参加状況などをお知らせいたします。

表1：アクセスがあった地域とアクセス数

### ➤ 200以上の閲覧

200以上の端末から、560回のWebページ閲覧がありました。繰り返し御覧になった人もいます。

### ➤ 17都道府県からのアクセス

表1のとおり、たくさんの地域からWebを御覧になっていただきました。

中央区	52
仙台	28
大阪	27
石巻	23
横浜	13
山形	10
新宿区	7
千代田区	4
市川	4
気仙沼	4
大崎	4
札幌	4
登米	4
高知	3
鹿児島	2
名古屋	2
太田	2
白石	2
足立区	1
江戸川区	1
福山	1
葛飾区	1
小平	1
京都	1
港区	1
向日	1
長野	1
那須塩原	1
西原	1
相模原	1
堺	1
世田谷区	1
渋谷区	1
品川区	1
富山	1

### ➤ 合計視聴回数627回

7つの動画について、総数627回の再生がありました（表2）。

表2：動画の視聴回数

動画のタイトル	視聴回数
校内研究の概要	160
加藤調査官講演会	98
小学部研究授業について	90
校長挨拶	64
中学部研究授業について	62
講演会案内動画	61
高等部研究授業について	52
合計	627

### ➤ 講演会動画申込数59

中には、研修会に動画を活用された団体もあるようです。視聴人数は、100人を超えているのかもしれない。

### ➤ きっかけの多くは「所属校への案内」「上司や知人からの紹介」



「校長挨拶」…2年間の校内研究の取組についてお話していただき、研究の概要や学部研究授業の動画視聴へ導いていただきました。

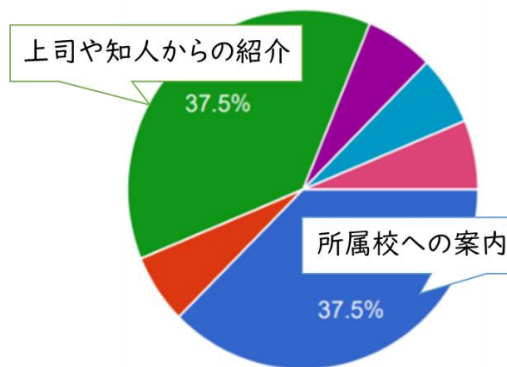


図1：Web公開閲覧のきっかけ



# 研究通信 ～学びをつなぐ～

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年12月23日 文責：寺門 No.34

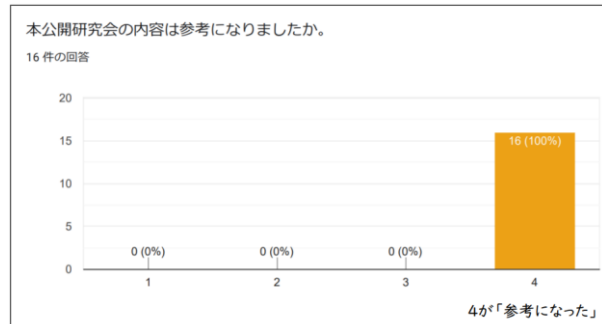
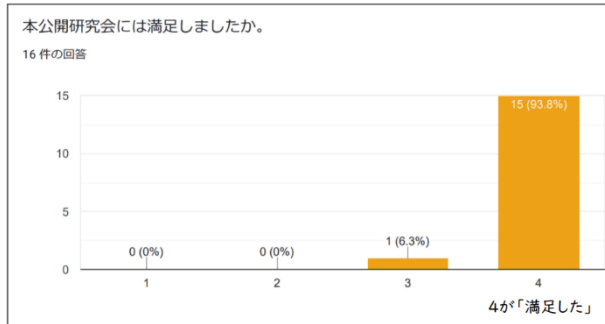


## 校内研究Web公開終了（その2）～御協力ありがとうございました～

Web公開のアンケート結果をお知らせいたします。

### ➤ アンケートに16の回答

200以上の閲覧に対して少ない回答になりましたが、アンケートの結果を共有いたします。



### ➤ 自由記述欄より

- ・Webでの公開、大変お疲れ様でした。どの動画もコンパクトにまとめられていて、研究の内容もよく分かりました。Webという性格を考えたとき、児童生徒の様子が見られないのは残念でしたが、多くの方々に見てもらう方法として、とても良かったと思います。他の学校も、公開する際の参考になるのではないかと思います。（あくまで個人的な意見ですが…）研究内容について、まずは宮城県内の多くの知的障害特別支援学校が抱えている課題に、しっかりと向き合っていることに敬服します。教科等合わせた指導で、具体的にどのように各教科の目標及び内容を扱っていくか、授業に位置付けていくかは大きな課題だと感じています。教科等を合わせた指導の良さを生かしながら、各教科の目標及び内容を明確にして扱っていくことに、難しさや混乱があると考えています。御校の取組は、このことに関して有意義な提案があったと思います。教科等を合わせた指導の良さが発揮できなくなると、教科別の指導に切り換えた方がよほど分かりやすいという考え方もあるかと思っています。カリキュラム・マネジメントや合科的な指導を導入した教科別の指導を行うことも、一考の価値があるのではと思います。しかし、繰り返しになりますが、教科等を合わせた指導には良いことがたくさんあります。どのような着地点があるか、御校の取組も参考にしながら今後も考えていきたいと思っています。最後に要望を一つだけ。御校で、年間指導計画に各教科の目標及び内容をどのように記載しているか、興味がわきました。また何かの機会に学ばせていただければと思います。（失礼な表現をしている箇所があるかもしれませんが、本意ではありません。ご容赦ください。）
- ・新しい学習指導要領の観点を取り入れ、いち早く研究を進めていることがすごかったです。
- ・知人の努力をうかがうことができた。







# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~

宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年12月23日 文責：寺門 No.35

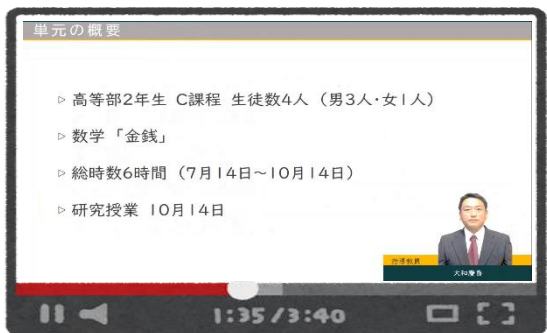
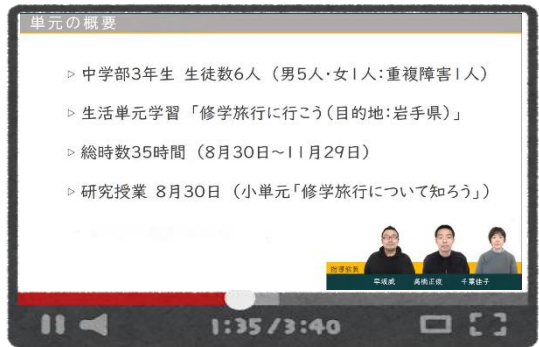
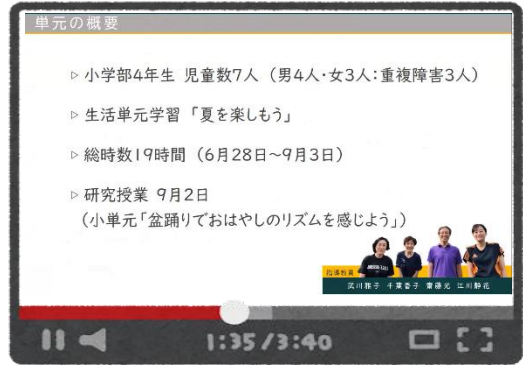


## 校内研究Web公開終了（その3）～御協力ありがとうございました～

Web公開のアンケート結果をお知らせいたします。

### ➤ 自由記述欄より（続き）

- ・とても興味深く発表と講演会も見せていただきました。先進的な取組、今後の参考にさせていただきます。新学習指導要領への取組は、県内でもまだ戸惑いも多い中だと思いますが、そうした中での御校の校内研究の公開は一つの示唆となり得るかと思えます。今後の研究の成果を楽しみにしています。googledriveの資料ですが、swanからだとアクセスが難しいので、できれば校務支援システム等を通していただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・単元シートの活用を通して、成果も課題も具体化できていると感じます。今後の研究の成果を期待しています。是非とも、今後も県全体に発信してください。
- ・単元シートと3観点の関わりがよく整理されており、分かりやすかったです。授業シートもシンプルでポイントを押さえており、参考にさせていただきました。
- ・公開期間がやや短く、ゆっくり拝見することができなかったため、週末をはさんでいただけたらありがたいと思いました。ありがとうございました。
- ・今後参考にしていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・ご苦勞様でした。研究部の先生方を中心とした石巻支援学校職員一丸となってやられた研究の成果ですよね。そしてWebでの公開もよかったです。調査官の話を何回も聞けますし！名取支援学校・名取が丘校も石巻支援学校に追いつき・追い越せの気持ちでがんばっていきます！石巻支援学校の先生方、本当にご苦勞様でした。そして寺門先生、本当に本当にご苦勞様でした。
- ・単元シートの考え方及び活用について、大変参考になりました。本校でも取り入れられるところがあると思うので、今後の校内研究等に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・新学習指導要領を踏まえてのタイムリーな取組に感謝申し上げます。今後の研究の成果を期待しております。
- ・加藤教科調査官からの御講演、大変勉強になりました。また、御校の単元シートの活用実践の今後が楽しみです。講演等で使用されたプレゼン資料のデータが手元にあると、後で振り返ることができるので、ダウンロード等ができるとういと思いました。





# 研究通信 ~学びをつなぐ~

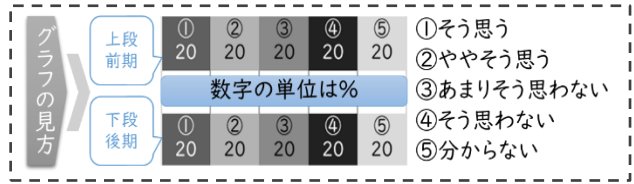


宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月7日 文責：佐々木 No.36

## 意識調査結果の御報告—小学部編1—

(前期:n=25, 後期n=25)

後期回収率100%でした。ご協力ありがとうございました。



<p>1. 単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践している。</p>	<p>2. 学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。</p>	<p>3. 学習集団を形成している児童生徒一人ひとりの目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討している。</p>
<p>【考察】肯定的な回答が増え、設問2, 3と相関が認められた。単元の目標と、育成を目指す資質・能力との関連を踏まえながら実践する意識が高まったと考えられる。</p>	<p>【考察】肯定的な回答が増え、設問1と相関が認められた。単元の目標と育成を目指す資質・能力との関連を明確にすることで、それぞれの児童の段階を踏まえて実践する意識が高まったと考えられる。</p>	<p>【考察】肯定的な回答が増え、設問1と相関が認められた。単元の目標と育成を目指す資質・能力との関連を明確にすることで、児童一人一人の目標や手立てを踏まえて学習内容を検討する意識が高まったと考えられる。</p>
<p>4. 単元の指導をする中で、児童生徒の目標や手立てを踏まえ学びの姿や配慮事項を記録している。</p>	<p>5. 児童生徒一人ひとりの学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価をしている。</p>	<p>6. 児童生徒の学びの姿や学習評価を踏まえた上で、単元の指導についての反省を教員間で共有している。</p>
<p>【考察】肯定的な回答が増え、設問6と強い相関が認められた。単元の指導について教員間で反省を共有することで、児童の学びの姿や配慮事項を記録する意識が高まったと考えられる。</p>	<p>&lt;その他&gt;評価の観点不明确でないように感じることもある。 【考察】肯定的な回答が増えた。それぞれの児童の学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価をする意識が高まったと考えられる。</p>	<p>&lt;その他&gt;バラつきはあるように思う。 【考察】肯定的な回答が増え、設問4と強い相関が認められた。単元の指導についての教員間で反省を共有することで、児童の学びの姿や配慮事項を記録する意識が高まったと考えられる。</p>
<p>7. 単元シートをどの程度活用しましたか。(TT含む)</p>	<p>8. 単元シートを活用することに効果を感じている(後期のみ)。</p>	<p>9. 単元シートを作成することに負担を感じた(後期のみ)。</p>
<p>注釈: ① 3つ以上の単元 ② 2つの単元 ③ 1つの単元 ④ 活用していない ⑤ 分からない</p>	<p>&lt;その他&gt;全体のイメージが持て、授業作りがしやすいと思う。 【考察】9割以上の教員が肯定的な回答をした。多くの教員が単元シートの有用性を認識していると考えられる。</p>	<p>【考察】回答の傾向が分かれ、どの設問にも相関が認められなかった。多くの教員が単元シートの有用性を認識しているが、それを作成する負担感には個人差があると考えられる。</p>



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月7日 文責：遠藤 No.37

## 意識調査結果の御報告—小学部編2—

自由記述欄の内容を共有いたします。たくさんの実践についても、一部ですが、写真で紹介いたします。

1-10. 単元シートを活用した実践を通して感じた効果や改善点など、御自由に御記入ください。

- 個別の目標、メモ欄にそれぞれ記入することで、全員の目標、配慮等を確認し、授業に臨むことができた。把握しやすかった。
- 個別の目標を立てることで、児童一人一人がその単元で何を目指すかがはっきりし、そのために授業の中でどのような手立てで行うか、考えやすくなった。



小学部2・3年生遊びの指導：スライムや新聞紙などの素材の感触を楽しむ児童

- 私としては、従来の単元略案よりも単元シートの方が作成しやすく、TTで授業を作っている感じがしてよかった。
- TTで話し合いを重ねる中で実態や目標の共通理解が図れるのでよいと思った。
- 目標から評価反省まで1枚のシートにまとまっているので、それだけで単元の全体像が捉えやすい。それらの作成を通して、どのように指導していくかが自分なりに見えてくるし、共通理解を図る上でも便利。作成はやや負担に思うが、意義はそれ以上にあると思っている。
- 遊びの指導において、教科の要素を意識するあまり、遊びの指導の要素（主体性、楽しむ感覚など）が少なくなってしまうこともあったので、バランスを考えて授業を実践していく必要があると感じた。



小学部4年生遊びの指導：築山で友達や教師と一緒に遊ぶ児童



小学部1年生生活単元学習：ケーキ作りを楽しむ児童



小学部5・6年生生活単元学習：動画教材に合わせて活動しながら学習発表会の役割を理解する児童

3 校内研究を深める上で、必要だと感じていることや、取り組んで欲しいことなどをご自由に記入してください。

- 単元シート、授業シートをもっと作成してみる。学年での話し合いでさらに活用すること。
- 個別の目標を達成するための具体的な手立てを考えることが大切だと感じている。メモ欄でもいいので個別の手立てを記すところがあると良いのかなと感じた。
- 来年度も単元シートについて取り組むのであれば、単元が終わった後に持つ学年での話し合いを次年度に向けた改善につなげるために、どのように行おうのがいいのか、考えていってみたい。
- 一人一実践の取組は必要だと思う。
- 昨年同様、次年度へ申し送る手立てがほしい。
- 学年・学部を超えて授業作りについて考える研修、意見交換ができる研修会。
- 普段の取組の中で、指導要領と本校の教育課程の関連を意識することができた。指導要領が新しくなった時期なので、全く新しいテーマを設定するよりも、今年度のような学びを継続できたらよいと思う。
- 授業実践の見方が難しいと感じている。単元全体の計画から切り取った1時間の授業で何をポイントに見ればいいのか、つい学習の進め方に等目がいってしまい、研究からずれているのではと不安になっている。



小学部5年生生活単元学習：制作活動の振り返りの学習





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月7日 文責：後藤 No.38

## 意識調査結果の御報告—中学部編1—

(前期:n=10, 後期n=9)

後期回収率 100%でした。ご協力ありがとうございました。

グラフの見方	上段 前期	① 20	② 20	③ 20	④ 20	⑤ 20	① そう思う ② ややそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない ⑤ 分からない
	下段 後期	① 20	② 20	③ 20	④ 20	⑤ 20	

<p>1. 単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践している。</p>	<p>2. 学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。</p>	<p>3. 学習集団を形成している児童生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討している。</p>
<p>【考察】前期に比べ、後期は①の回答が0%から40%に増えた。単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践する意識が高まったと言える。</p>	<p>【考察】前期に比べ後期は①の回答が42ポイント増え、③の回答がなくなった。このことから、生徒一人一人に応じた目標を踏まえて実践する意識が高まったと言える。</p>	<p>【考察】①の回答が0%から70%に、③の回答が25%から0%になった。生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働して学習内容を検討する意識が高まったと言える。</p>
<p>4. 単元の指導をする中で、児童生徒の目標や手立てを踏まえ学びの姿や配慮事項を記録している。</p>	<p>5. 児童生徒一人一人の学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価をしている。</p>	<p>6. 児童生徒の学びの姿や学習評価を踏まえた上で、単元の指導についての反省を教員間で共有している。</p>
<p>【考察】①が20%増え、④⑤もそれぞれ10%ずつ増加した。日々の実践を踏まえて考察すると、目標や手立てを踏まえて記録することの必要さを感じた教員が増えたことがうかがわれる。</p>	<p>【考察】後期に①②を合わせた回答が100%になった。このことから、全ての教員が生徒一人一人の学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価を意識していると言える。</p>	<p>【考察】①②を合わせた回答が22%増えた。このことから、単元の指導についての反省を教員間で共有することが増えたと言える。</p>
<p>7. 単元シートをどの程度活用しましたか。(TT含む。)</p>	<p>8. 単元シートを活用することに効果を感じている(後期のみ)。</p>	<p>9. 単元シートを作成することに負担を感じた(後期のみ)。</p>
<p>注釈:①3つ以上の単元 ②2つの単元 ③1つの単元 ④活用していない ⑤分からない</p>	<p>【考察】①②を合わせた回答が80%だった。このことから、単元シートを活用することに効果を感じている教員が多いと言える。 設問8の①が40%であるのに対して、設問9の①が10%であった。シートを作成することに大きな負担を感じている教員よりも効果を感じている教員が多いことが分かる。</p>	<p>【考察】①②を合わせた回答が70%だった。このことから、単元シートの作成に負担を感じている教員が多いと言える。</p>



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月7日 文責：後藤 寺門 No.39

## 意識調査結果の御報告—中学部編2—

自由記述欄の内容を共有いたします。

<p><b>1</b>—10. 単元シートを活用した実践を通して感じた効果や改善点など、御自由に御記入ください。</p> <p><input type="checkbox"/>より簡単に書いて情報が満たされるようにしたい。</p> <p><input type="checkbox"/>TTで話し合いを重ねる中で実態や目標の共通理解が図れるのでよいと思った。</p> <p><input type="checkbox"/>単元計画と児童・生徒の個別の目標や評価、メモ欄が一枚にまとめられて、見やすい。その単元で一人一人に何を求めるのか(何を目標にするのか)をしっかり持つことにつながる。単元の反省と全体の学習評価の両方ではなく、単元の反省だけでよいかと思う。また、毎回これを作るとなると、負担かなと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>単元の構成を考える上では大切な部分なので、それは活用の効果だと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>単元シートの問題ではありませんが、学習集団の大きさや単元構成(現カリキュラム)から、シートの活用が難しいと感じた。</p> <p><input type="checkbox"/>これまでの単元計画・略案・毎時の授業準備に加わる負担はやはり感じた。</p> <p><input type="checkbox"/>単元シートを通して話し合いをすることでTT間でスムーズに話し合いが持てた。</p> <p><input type="checkbox"/>学習指導要領で示されている中学部の段階と生徒の実態との相関を考えながら、目標や学習内容を考える力が必要なのだなあと感じた。</p> <p><input type="checkbox"/>個別の目標を落としすぎたかなあ・・・自分の反省。</p>
<p><b>3</b> 校内研究を深める上で、必要だと感じていることや、取り組んで欲しいことなどをご自由に記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/>個人の問題(課題)なのか、全体の問題(課題)なのかは何とも言えないですが、授業について考える機会・時間がもうちょっと捻出できることが必要。</p> <p><input type="checkbox"/>生徒にとって理解しやすい授業の実践例の紹介。</p> <p><input type="checkbox"/>言い訳に過ぎないが、日々の諸々に忙殺されて、研究部の方に任せっぱなしになってしまい、申し訳ない。</p> <p><input type="checkbox"/>指導要領を踏まえて個別の指導計画の目標・手立て等を立てているので、その単元で既に設定しているならそのまま抜き出せる形が理想的。</p> <p><input type="checkbox"/>教材・教具の活用法。特定の生徒をモデルとして先生方の学習、生徒指導の実例等知りたい。</p> <p><input type="checkbox"/>どんな指導・支援が目指す生徒を育成することにつながっているのかをシンプルにいつもイメージできているといいなあと感じている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員室前の掲示板を楽しみにしている。先生方の中で話題にならないことが残念。ジロジロ見ているのは私だけでしょうか(笑)。通信作成ありがとうございます。</p>

この他にも、貴重なご意見をいただきました。

学部会で次のような意見がありました。「公开发表に照準を当てた様式だったので、恒常化には重たいので、さらに実際に使いやすい無理の無いものにそぎ落としてほしい。」参考にしていただけたらと思う。

(貴重な御意見ありがとうございます。今回の様式は、公開を検討する前の昨年4月に提案したものでした。その後、公開に向けた取組も含めて、たくさん実践ありがとうございました。様式については、研究部でも様々検討しているところです。どの部分をそぎ落としたらよいかぜひご相談させていただきたいと思います。また、同様の御意見をお持ちの先生方の御意見もお伺いできたら幸いです。今後とも、校内研究への御理解・御協力よろしくお願ひします。)





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月7日 文責：星 No.40

## 意識調査結果の御報告—高等部編1—

(前期:n=27, 後期n=25)

後期回収率93%でした。ご協力ありがとうございました。



<p>1. 単元の目標と、各教科等の育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践している。</p>	<p>2. 学習指導要領で示されている目標及び内容について、当該の段階と下の学年の段階の児童生徒が学習集団を形成している場合、それぞれの児童生徒の段階を踏まえて実践している。</p>	<p>3. 学習集団を形成している児童生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ、教員間で協働しながら学習内容を検討している。</p>
<p>【考察】前期に比べ後期は①②の回答が18ポイント増えた。このことから、単元の目標と育成を目指す資質・能力との関連を踏まえて実践する意識が高まったと言える。</p>	<p>【考察】前期に比べ後期は①の回答が16ポイント増えた。このことから、日々の実践において、生徒一人一人に応じた目標をより意識することが増えたと言える。</p>	<p>【考察】前期に比べ後期は①②の回答が6ポイント減り、③の回答が9ポイント増えた。このことから、生徒一人一人の目標や手立てを踏まえ学習内容を検討する必要性を感じた教員が増えたことがうかがえる。</p>
<p>4. 単元の指導をする中で、児童生徒の目標や手立てを踏まえ学びの姿や配慮事項を記録している。</p>	<p>5. 児童生徒一人一人の学習状況を踏まえた上で、単元における学習評価をしている。</p>	<p>6. 児童生徒の学びの姿や学習評価を踏まえた上で、単元の指導についての反省を教員間で共有している。</p>
<p>【考察】前期に比べ後期は①②の回答が20ポイント増えた。このことから、単元の中で生徒の目標や手立てを踏まえ学びの姿や配慮事項を記録した実践が増えたと言える。</p>	<p>【考察】前期に比べ後期は①②の回答が10ポイント増えた。このことから、生徒一人一人の学習状況を踏まえて学習評価をすることが増えたと言える。</p>	<p>【考察】前期に比べ後期は①②の回答が13ポイント増えた。このことから、単元の指導についての反省を教員間で共有することが増えたと言える。</p>
<p>7. 単元シートをどの程度活用しましたか。(TT含む)</p>	<p>8. 単元シートを活用することに効果を感じている(後期のみ)。</p>	<p>9. 単元シートを作成することに負担を感じた(後期のみ)。</p>
<p>注釈：①3つ以上の単元 ②2つの単元 ③1つの単元 ④活用していない ⑤今年度赴任した</p> <p>【結果から】単元シートの活用が昨年度の93%から、今年度100%になった。また、2つ以上の単元で活用した教員が29ポイント増えた。</p>	<p>【考察】設問1-8において①②の回答が52%であり、設問1-9において①②の回答が75%だった。このことから、単元シート活用における一定の効果は感じているが、作成における負担をより大きく感じていると言える。</p>	





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



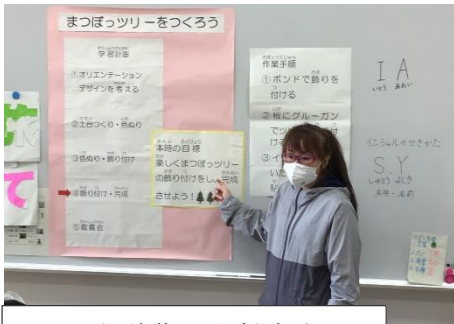
— 宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月7日 文責：星 No.41 —

## 意識調査結果の御報告—高等部編2—

自由記述欄の内容を共有いたします。

- 1**—10. 単元シートを活用した実践を通して感じた効果や改善点など、御自由に御記入ください。
- 実際に使ってみると、Dの個別の目標が個人ごとに明記されていて分かりやすい反面、情報量が多いと感じる。段階ごとに明記し、誰がその目標に該当するのかを示すとすっきりするかと思う。
  - 生徒の情報を共有する上では効果はあると思うが、作成するのに時間をとられるようなので、そのあたりはどうか？
  - 各教科の育成を目指す資質・能力を考えることで、カリマネの意識が強くなった。
  - 一人一人実践がすばらしい。
  - 今年度寺門先生や研究部の先生方のリーダーシップにより、近年で一番実りある研究になった。研究部通信や掲示板での共通理解等、日々意識できるような働き掛けもすばらしい。
  - 単元シートを作成するとき目標や手立てを意識することができた。授業実践の中で数人の生徒には手立てを意識できるが限界がある。T2、T3になると単元シートが意識されにくい。
  - 評価したものを指導計画に書きやすい。
  - 学習指導要領や教育課程を見ながら単元計画を考えるいい機会になった。ただ、これを毎単元書くには負担が大きい。今後も使うなら、もっと簡単にかつ個別の指導計画の評価とリンクするようにするとより使い勝手が良くなると思う。
  - 目指す資質・能力や個別の目標や段階を確認するには、必要なツールだと思った。
- 3** 校内研究を深める上で、必要だと感じていることや、取り組んで欲しいことなどを御自由に記入してください。
- 授業の記録が、個別の指導計画とも連動して、手立てや評価が記述しやすくなるが良い。そのためにはメモ欄のスペースが必要になり、ワンペーパーでおさまらなくなるが…。

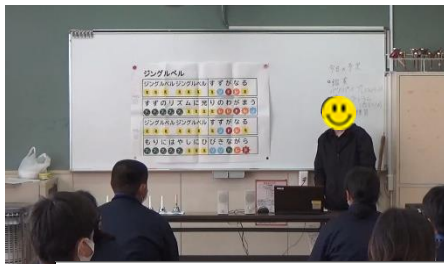
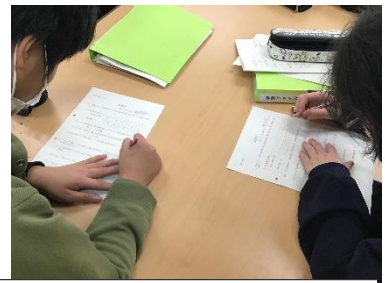
たくさんの実践についても、一部ですが、写真で紹介いたします。



2年美術 木村先生  
「造形作品を制作しよう」



3年数学 佐藤(大)先生「長さ・重さ・かさ」



1年音楽 新家先生「いろいろな音楽と楽器に触れよう」





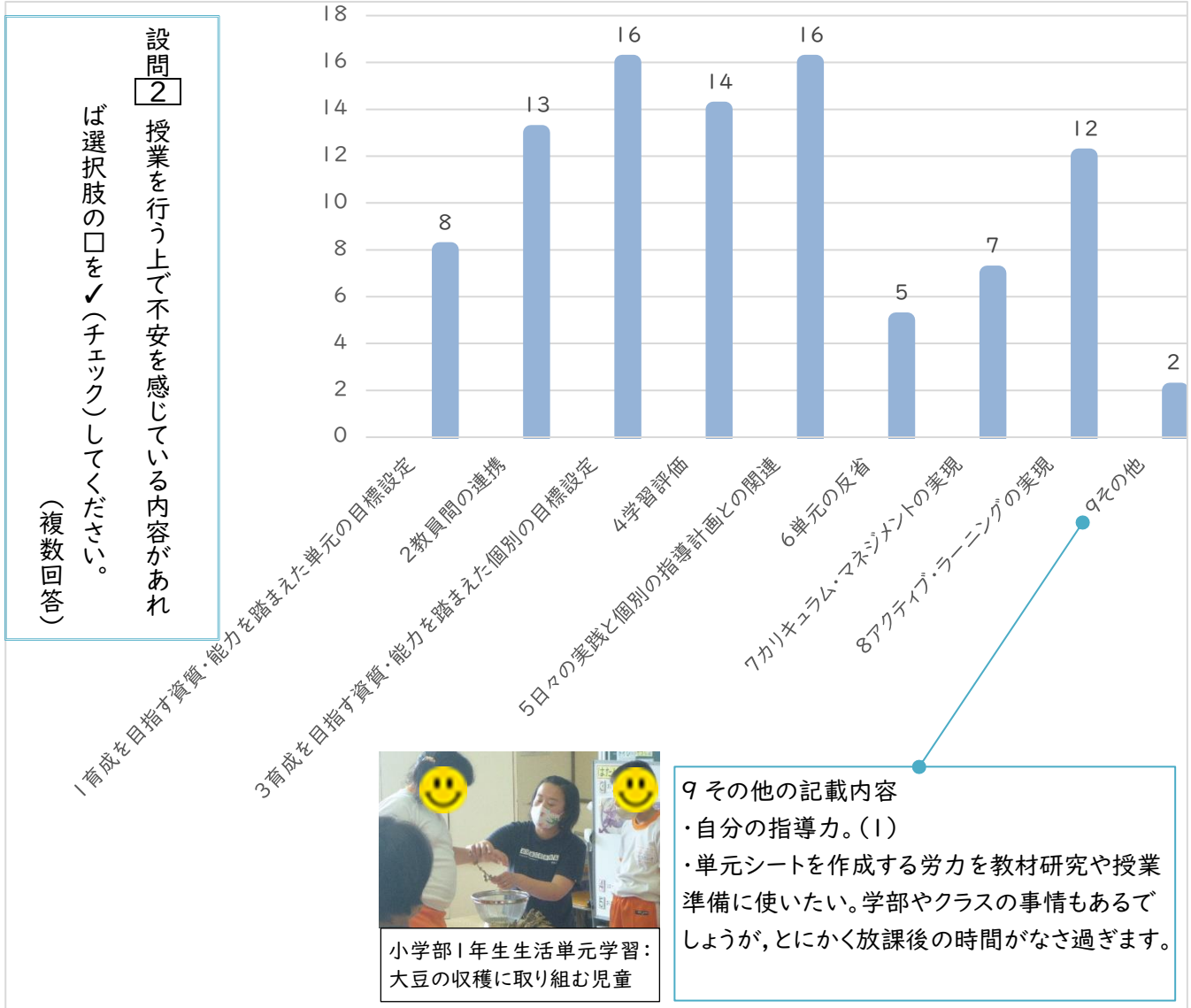
# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



— 宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月11日 文責：寺門 No.42 —

## 意識調査結果の御報告 —設問2（全体）編—

設問2の結果をお知らせいたします。実践の様子も写真等でお伝えさせていただきます。



### 【考察】

「3 育成を目指す資質・能力を踏まえた個別の目標設定」や「5 日々の実践と個別の指導計画との関連」について不安を感じている教員が多い。このことから、集団での学習を中心とした日々の実践において、児童生徒一人一人の目標設定や学びの記録・評価などをどのように進めたらよいか不安を感じている教員が多いと言える。

「4 学習評価」について「1 育成を目指す資質・能力を踏まえた単元の目標設定」よりも多く選択されている。このことから、設定した目標を踏まえ、どのように児童生徒の学びを評価し、次の実践につなげたらよいか不安を感じている教員が多いと言える。

上記に次いで、教員間の連携やアクティブ・ラーニングの実現について多く選択されている。このことから、教員間で連携しながら授業改善を進めたいと考えている教員が多いことが分かる。



養護教諭による修学旅行事前指導「旅先でのエチケット」



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~

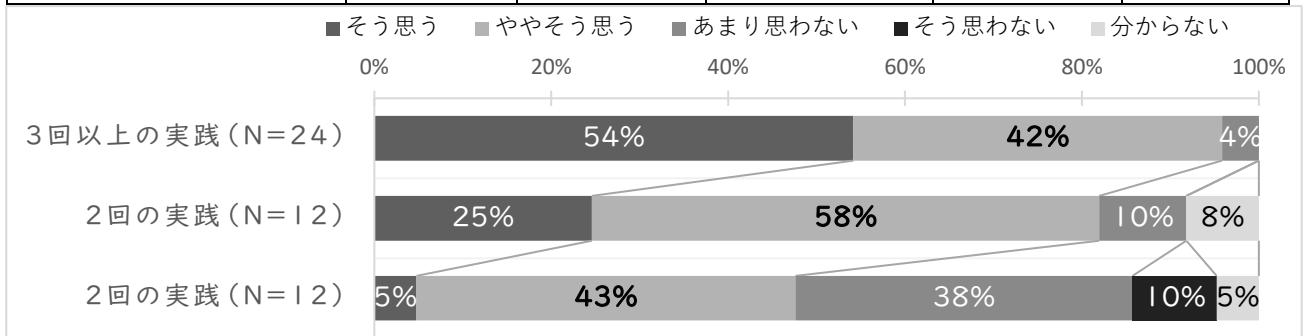


宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月日 11文責：寺門 No.43

## 意識調査結果の御報告 —設問1-7と設問1-8・9のクロス集計 編—

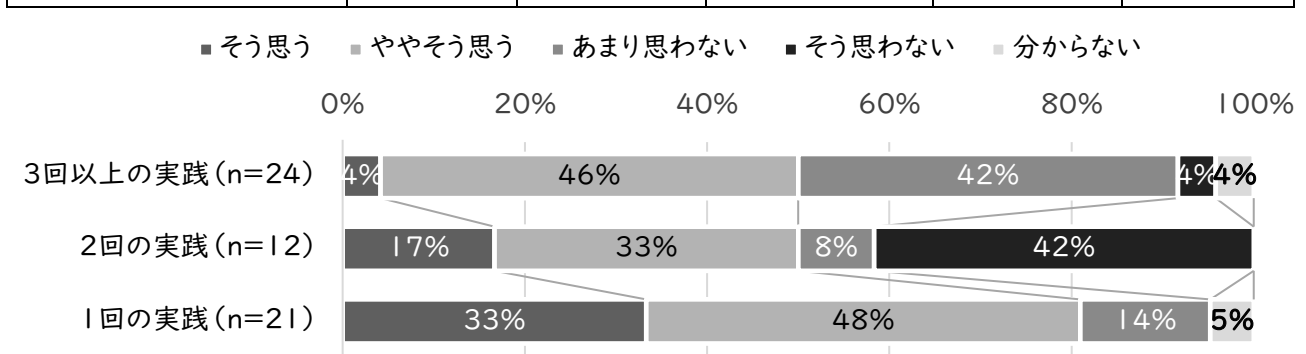
### 単元シートを活用した回数 (設問1-7) × 感じた効果 (設問1-8) 【左%・右(人数)】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	分からない
3回以上の実践 (n=24)	54% (13)	42% (10)	4% (1)	0% (0)	0% (0)
2回の実践 (n=12)	25% (3)	58% (7)	10% (1)	0% (0)	8% (1)
1回の実践 (n=21)	5% (1)	43% (9)	38% (8)	10% (2)	5% (1)



### 単元シートを活用した回数 (設問1-7) × 感じた負担 (設問1-9) 【左%・右(人数)】

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	分からない
3回以上の実践 (n=24)	4% (1)	46% (11)	42% (10)	4% (1)	4% (1)
2回の実践 (n=12)	17% (2)	33% (4)	8% (1)	42% (5)	0% (0)
1回の実践 (n=21)	33% (7)	48% (10)	14% (3)	0% (0)	5% (1)



#### 【考察】

上段の集計では、活用した回数が多いほど単元シートの効果を感じていることが分かった。下段の集計では、活用した回数が多いほど単元シートの作成を負担に感じていないことが分かった。自由記述欄には「作成はやや負担に思うが、意義はそれ以上にあると思っている。」などの記述があった。これらのことから、単元シートの活用を継続していくことで、より効果を感じたり、負担が軽減したりすることが考えられる。

また、最も負担を感じていないのが二度の活用であった。単元シートを繰り返し活用したことにより、一度の活用より見通しを持ってシートを作成できたことが考えられる。





# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月14日 文責：寺門 No.44

## 第2回 研究全体会（1月31日）について

当初、1月に研修の日⑧「学部研究の共有（ポスター発表）」、2月に研修の日⑨「研究全体会（今年度のまとめ・次年度の提案）」が計画されていきました。計画の調整があり、研修の日⑧⑨を同日に行うことになりました。そのため、休憩時間の振替など、先生方の御協力をいただく部分がございます。以下の①～③につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。



写真：昨年のポスター発表の様子①

### ① 当日のタイム・スケジュールについて

1月31日（月）のタイム・スケジュールを表1のとおりお知らせさせていただきます。

表1 第2回研究全体会のタイム・スケジュール

	※学部内で二つのグループになるように調整願います。	
	A グループ	B グループ
14:30～	休憩時間	
15:00～	学部研究ポスター発表 ① 15:00～（14分間） ② 15:15～（14分間）	通常業務または休憩時間
15:30～	通常業務または休憩時間	学部研究ポスター発表 ① 15:30～（14分間） ② 15:45～（14分間）
16:00～	（会場準備）	
16:05～	第2回研究全体会	

B グループ  
この中で  
45分休憩

A グループ  
この中で  
45分休憩

### ② ポスター発表のグループについて

ポスター発表の良さの一つに、発表者と参加者がやり取りできることが挙げられると思います。感染症対策を兼ねて、学部内で二つのグループに分け、少人数参加のもとポスター発表を行えるようにしたいと考えました。

表1のタイム・スケジュールのとおり、各グループ二度のポスター発表に参加していただきます。先生方におかれましては、御自身の学部以外の二つに御参加ください。



写真：昨年のポスター発表の様子②

### ③ 休憩時間について

表1右側のとおり、休憩時間を振り替えていただく場合がございます。各学部の研究部員がグループ分けのお声掛けをさせていただきます。不都合等ございましたら、研究部員までお申し付けください。



写真：昨年のポスター発表の様子③



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年1月27日 文責：寺門 No.45

## 第2回 研究全体会（1月31日）について（感染症対応版）

職員会議の運営に倣い、研究全体会を以下のように変更して開催したいと考えました。  
御協力よろしくお願いいたします。

### 1 ポスター発表による学部研究の共有【15:00～】

※学部内で二つのグループになるように調整願います。	
Aグループ	Bグループ
14:30～	休憩時間
15:00～ 学部研究ポスター発表 ①15:00～(14分間) ②15:15～(14分間)	通常業務または休憩時間
15:30～ 通常業務または休憩時間	学部研究ポスター発表 ①15:30～(14分間) ②15:45～(14分間)
16:00～	(会場準備)
16:10～	第2回研究全体会

### ポスター発表について

- ・下記3会場に分かれて行います。
- ・御自身の学部以外の2つの発表に御参加願います。  
※移動時間確保のため、左記のタイムスケジュールを多少調整いたします。

小学部ポスター発表  
⇨視聴覚室

中学部ポスター発表  
⇨中学部棟プレイルーム

高等部ポスター発表  
⇨体育館

### 2 第2回研究全体会（今年度のまとめ・次年度の提案）【16:10～】

※学部内で二つのグループになるように調整願います。	
Aグループ	Bグループ
14:30～	休憩時間
15:00～ 学部研究ポスター発表 ①15:00～(14分間) ②15:15～(14分間)	通常業務または休憩時間
15:30～ 通常業務または休憩時間	学部研究ポスター発表 ①15:30～(14分間) ②15:45～(14分間)
16:00～	(会場準備)
16:10～	第2回研究全体会

### 研究全体会について

- ・下記3会場に分かれて行います。
- ・御自身の学部の会場にご参集願います。
- ・御発言の方法は、会場によって異なります。  
下図をご参照ください。

小学部御発言⇨個別活動室2

小学部会場⇨視聴覚室

全体会のご説明(寺門)はこちらより行います。

中学部御発言⇨中学部3年1組教室

中学部会場⇨中学部棟プレイルーム

高等部会場・御発言⇨体育館



# 研究通信 ~ 学びをつなぐ ~



宮城県立石巻支援学校 研究部 令和3年2月3日 文責：寺門 No.46 (最終号)

## 一年間ありがとうございました

先日は、学部研究のポスター発表及び研究全体会への御参加ありがとうございました。急な予定の変更もございましたが、感染症対応への御理解と御協力に感謝いたします。

現在、来週の起案を目指して研究紀要の再整理を進めております。それに向けて、ポスター発表の際にいただいた御意見等を取りまとめているところです。全体会では、リモートでの御発言がしにくかった部分もあるかと思ひます。御意見等ございましたら、今週中に研究部員までお知らせいただけますでしょうか。

設定したテーマの基、先生方のお役に立ちながら研究を推進したい気持ちと、校内研究に掛かる御負担が大きくなるようにという気持ちを天秤にかけながら、先生方と一緒に校内研究を進めてきたつもりでございます。至らない点もあり、先生方には、貴重な時間や多くの労力を注いでいただいた部分もあると思ひます。

改めて、御礼申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



小学部研究ポスター発表（視聴覚室）



中学部研究ポスター発表（中学部ブレイルルーム）



高等部研究ポスター発表（体育館）

## 季刊誌：特別支援教育「冬」

体育科の目標（網掛けは改定部分）

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（以下略）

季刊誌、「特別支援教育『冬』」が届きました。今回のテーマは東京2020オリンピック・パラリンピックについてです。今回の学習指導要領改訂において、体育科では「生涯にわたって」という表記が加えられました。こちらの季刊誌に、子供たちの豊かなスポーツライフを実現するためのヒントがあるかもしれません。どうぞご覧ください。



## 「実践みんなの特別支援教育」に星先生の記事が掲載

御紹介が遅くなりました。昨年発行された「実践みんなの特別支援教育11月号（Gakken）」に星先生の記事が掲載されました。タイトルは「学習指導要領をもとにした高等部教育課程の見直し・改訂」です。私たちが、個別の指導計画を作成する際に、参考にしている見慣れた表も掲載されています。どうぞ御覧ください。

今号が今年度の研究通信最終号になります。一年間、御愛読ありがとうございました。

